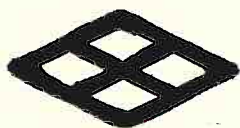


合織糸・合織混紡糸



# 田村紡績株式会社

社長 田 村 正 衛

四日市市東茂福町10-17  
TEL 0593-65-2156 (代表)  
郵便番号 512

豊中市にハンドボール連盟が結成されて、十周年を迎えた。

ハンドボールの愛好者はご存知の如く、豊中は早くからハンドボールと深い関係のあるところで、中学・高校から大学・社会で技を磨き、既に国際試合の経験者も現われ、多数のハンドボールマンと立派な指導者もっている。この豊中市が、連盟を結成したことは何の不思議さも感じないと思う。然し、十年前やもすればまだ少数精銳主義的なハンドボール界の中で、組織をつくっても、財政上動けないし、余程の根気をもってあたらないと続きはしないのではという不安と、焦燥をもってとにかくふみきった。発起人三人と市内各中・高校の先生方およびOB・OG代表が何度も準備会を開き日本のハンドボール界の歴史を築いた豊中で、過去の経験者が、若いハンドボールマンの健全育成のために、全員「奉仕」をモットーに連盟を結成した。豊中市体育連盟への加盟は勿論異議なく認められ、市民のスポーツとして、他の種目と肩をならべて、直ちに活動を開始した。市民ハンドボール大会・対堺市定期戦の開催をはじめ、日本スポーツ少年団にハンドボールとして加盟した。市民大会には、一般の部は勿論中学生まで自由にチームをつくり参加出来るようにした。中学時代や高校時代

にハンドボールをしたものが、その後いろいろな事情で出来なくなつた人達に何時までも続けられるようにした。従つて、中学校のOB・OGのチームもどんどん参加している。中学生も学校代表の形ではなく、複数チームの参加があるため、クラブ員は勿論全員チー

### 理事長登壇 ⑨

大阪・豊中市連盟理事長  
遠藤 信三



ムの一員として参加し、学校ではクラブに入っていないくても、チームをつくって参加できるようにしたので、昨年から大会には四日間を要する。本年も十月末よりにぎにぎしく開催されることと思う。四十六年の十月市民体育館が竣工

した。当初は、ハンドボールコートはとても無理だということであったが、ハンドボール連盟の強力な要望により、臨時市議会で正規の広さのコートがとれるよう設計変更と追加予算が承認された。これも、市民のハンドボールに対する理解と深い関心のあらわれである。以来この体育館を中心として、活動がさらに活発になり、発展してきた。昨年の春からは、市の社会体育行事の一環として、スポーツ教室が本格的に開設された。ハンドボール教室も毎月一回午後四時から午後九時までおこなう指導や練習会に多数の参加者を迎えた。参加者の中には、四十才をこえる男の方が一人で参加されボールの扱い方から手ほどきをうけておられたのを、ほほえましくみつめたこともある。本年からは毎月二回にふえ、四月から十二月までおこなう。昨年は十回開催し参加者は、六一〇名で、本年はさらに多くなることと思う。小学生は六時までとし、常に数名の指導者が懇切丁寧に指導にあたっている。この指導者は、ハンドボール連盟の役員、委員が委嘱されてこれにあたっている。小学生は楽しく参加し、出席率も九九・五パーセントである。毎月二回のこの機会をたのしみにし、技術も相当なぐれたものがみられる。また、昨年

に引続いておこなわれている家庭人トレーニング教室で、カリキュラムにもハンドボールを入れ、その大部分の方は、大きな興味をもち、これが次の段階に発展し、ママさんハンドボールがおこなわれることになった。先日の会長杯争奪大会の際にも、オープン戦としてママさんのゲームをおこないとてもなごやかで、もっともっとやりたいので機会をつくってほしいとの希望が出ている。豊中市ハンドボール連盟は、一人でも多く市民に、実際にハンドボールをやりたいのしみに、そのよさを見つけて中広く、奥行きのあるハンドボール入口の増加を目指している。独力で十年歩みつづけ、今後もしもそうなるかも知れないが、たとえ、その活動がささやかなものであっても、きつと美しい花を咲かせ、立派に実を結ぶであろうことをたのしみにして今日も活動を続けている。

「ハンドボール」

10月号(第113号) 目次

理事長登壇⑨……遠藤信三……(1)

ユーゴ来日特集

第1戦(全日本)……(2)

第2戦(三景)……(4)

第3戦(大崎電気)……(5)

第4戦(大同製鋼)……(6)

第5戦(湧永薬品)……(8)

第6戦(全日本)……(10)

日本を去るにあたって……(13)

……I・スノイ……(13)

ユーゴ戦に拾う……(15)

ラインハウゼン来日特集……(16)

全日本学生選抜東西対抗……(19)

全日本男女の新編成……(21)

世界男子予選組み合わせ……(23)

第28回国民体育大会展望……(24)

全国私立中高校保健体育科研修会報告……(27)

第2回全国中学生大会感想……(28)

中学大会記録……(30)

各地の記録……(31)

編集後記……(32)

【表紙写真】ユーゴの巨砲ラザレビッチの迫力に満ちた攻撃。全日本は三人がかりのマークである。(9月1日・東京体育館 撮影・山口芳則)



# 嵐の速攻、鉄壁の守備網

## ユーゴ、「金メダル」の実力示す

日本・ユーゴ  
国際親善

金メダルの威力、貫録。ユーゴストラビア・オリンピックピックチームは「世界最高」といわれるにふさわしい力と技を存分に發揮、嵐のように日本を襲い、去っていった。内外の注目を集めた日本・ユーゴストラビア国際親善シリーズは、9月1日東京体育館での全日本戦を皮切りに、全国5都市で6試合が行われた。

ミュンヘン・オリンピックで、近代ハンドボール史上最強の絶讃をうけつつ栄光に輝いたユーゴは、つねに斗志に満ちたプレーで、満を持して挑んだ日本勢を制し6連勝、その強さをまざまざと見せつけた。

過去1勝1分1敗と互角の全日本は東京、京都で二戦をまじえたが、ユーゴの自信にあふれた攻守に圧倒され連敗、その他の有力実業団も健闘しながら、金メダルの壁を突き破ることができなかった。しかし、オリンピック優勝国を迎えて、記録的な観衆をのんだ第1戦（東京体育館）をはじめ各会場は熱気にあふれた雰囲気にもまれ、シリーズは大成功のうちに幕を閉じた。

8月29日夜の来日から9月10日の帰国まで13日間、それは、36年の日本ハンドボール史のなかでもかつてない感激と興奮と収穫の日々であった。

## 全日本、前半で力つく

第1戦・全日本との第1回戦は公式国際試合として9月1日午後3時45分から東京体育館で行われた。審判員 安藤純光、佐野和夫。記録員 岡前義春。計時員 大塚文雄。観衆 約五千

### 観戦記

渡辺邦雄  
(朝日新聞東京  
本社運動部)

まった。強さと巧さと速さ、それにプレーの美しさをも兼ね備えたチームという印象が強い。

ユーゴスラビア 23(10-5) 12 全日本

○……演員の五千ファンは、五輪金メダル・チームの深みのあるプレーに酔ったに違いない。ユーゴは選手個々のしつかりした基礎技術を土台に臨機応変の攻守を展開し、全日本を軽くあしらってし

ユーゴ	0	0	3	0	1	3	1	0	2	0	0	2
全日本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ユーゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全日本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



後半7分10秒、新鋭・蒲生(中大)豪快なシュートを決める  
(撮影・山口芳則)

ブルニッチに右45度から逆転のロング・シュートを決められてからは、遂に一度もリードを奪うことができずに終わった。  
ユーゴは「飛行機内で9度の食事を取り、三十一時間の旅」(スノイ監督)をつづけて前々夜、来日したばかり。当然、時差ボケもあった。それなのに、ミリコピッチ・コーチは試合後「本来のスピードがなかったので開始間もなく頭腦的プレーに切り替えたが、70%の出来」といった。100%といえないのは、ラブルニッチとラザレビッチのL・L砲が計4点しかか

せがず、チームとしての練習不足から連係プレーが完全とはいえないかったためだろう。  
とはいえ、日本選手よりも上背や体力で大きく優る彼らが、日本得意の速攻をしのぐスピードを見せ、両サイドをフルに使ったゆきぶりや、鮮やかなポストプレーをふんだんに披露した。前半3-12と追られた13分、大きく速い球回しのと右サイドのプリバニッチから山なりのパスが左サイドへ送られるや、ポクラクヤクがダイビングよりしく両手でトスするようにゴールへ押し込んだ。スカイプレーの美しさが浮き

影りされたシーンだったが、一瞬の好機を逃がさない鍛えられた「目」があった。それは日本のちよっとしたミスから一気に速攻で得点する抜け目のなさにも表われていた。  
新旧交代の時期にある全日本は連係プレーがちくちく、管制塔役の木野も苦勞したのは同情できる。しかし、速攻で決めたのは12得点のうちわずかに2点。木



野、飯田らの強引なジャンプシュートや佐藤のアンダーシュートが時折り決まりはしたが、中途半端な速攻では勝負にならないことを示していた。大男をポデーチェツクしつづける結果のスタミナの消耗度と比例して鈍っていった。速攻の威力。日本の課題を改めてさげ出した試合だった。

### 技術評 荒川清美

フリースローラインの手前から易々とシュートをほおろこむロングシューター陣をマークすれば、ポストマンたちにゴールエリアライン周辺をえぐられ、得点機をつかまれるというユーゴの攻撃に対して、日本のディフェンスがどこまで、その動きを封じこめるかをカギとみたが、ユーゴはミューンヘン時よりもいっそう自信と余裕をもったプレーで、我々の「期待」を打ちくいだいた。

先制点を日本があげ、前半なかばまで互角——この展開はまったくミューンヘンと同じである。

22分で5-7。このあと日本ディフェンスがどう守るか。結果的には、ここがこの試合の最大のヤマ場であった。

ところが、日本はこのあとの4分間であっというまに3点をもぎとられてしまったのだ。

口火となった1点は、ルーズボ

ールをラザレビッチに素早く拾われてしまい、ポククラヤクに決められたもの。ラザレビッチのシュートを食いこめるのにディフェンスは精いっぱい、はね返ってくるボールへの反応はまったく無かった。さらに7MT(ラブルニッチ)、プリバニッチとたたみかけられダブルスコア。

ここさえ、なんとかもちこたえれば、日本は、リードされながらも勝利への射程圏内に相手を留めておくことができたと思う。

身体で身体を止める防禦、たえない密着——これはなみだいての努力では成らない。しかし、その心技なくしては、世界のトップへは仲間入りできないのだ。その点、ユーゴは実にみごとである。60分間、まったくスピード

が落ちない。たえず全員が動きつづけている。これは攻防どちらの場合でも、すぐに次のプレーに移れることを示す。なんのことはない「球技の基本」として、以前から口がすっぱくなるほど云われている「動作」なのである。

しかも、ユーゴの動きにはムダがない。例えば日本が速攻を仕掛けると、彼らは両手を大きく拡げながら、後向きで全速力に帰陣する。相手のパスを少しでも遅らせるようとしているのだ。10点目は、

この動きを忠実に守っていたホルバットに、日本のパスがひっかかり、逆襲されてしまったのである。日本は、攻撃面でもいささか単調で、やたら中央突破を狙って、相手守備網のカットにあった。サイドからのゆさぶり、警戒心

を誘うための犠牲打としてのスカイプレー、などを活用すべきだったし、疲れからタイミングがとれなかったのも一考を要そう。

惜しまれるのは、後半5-11から7MTを下里が止めた直後、蒲生のゲットで6-11とし、さらに速攻から蒲生・飯田と絶好のパスが渡りながら、得点に結びつかなかったプレーだ。ムードもテンポも上り調子だっただけに、この逸機は痛い。こうした局面でゲットする確実味が望まれる。

ユーゴはさすがに、全員が洗練された攻守をみせたが、特にGKアルスラナジッチの沈着なプレー、ポククラヤクのリードマンシップはみごとだった。L1砲は本調子ではなく、むしろミルヤクがいちだんと成長をとげ印象深かった。(日本協会理事長)

### 日本・ユーゴ④ ランニングスコア

【日本】 【ユーゴ】

前半	①大江	①ポククラヤク
3分10秒		②ラブルニッチ
3分30秒		③ポククラヤク
5分5秒		④ポククラヤク
9分40秒	②飯田	⑤ホルバット
12分10秒		⑥ラザレビッチ
12分35秒		⑦ホルバット
13分30秒	③藤中	⑧ポククラヤク
14分10秒		⑨ラブルニッチ(7)
15分30秒	④佐藤	⑩プリバニッチ
17分10秒		⑪ホルバット
18分8秒	⑤飯田	⑫セルダルジッチ
22分10秒		⑬ホルバット
24分20秒		⑭セルダルジッチ
26分2秒		⑮ポククラヤク
28分10秒		⑯ミルヤク(7)
後半		⑰セルダルジッチ
3分15秒	⑥蒲生	⑱セルダルジッチ
7分10秒	⑦木野	⑲プリバニッチ
8分10秒		⑳ミルヤク
9分		㉑ラブルニッチ(7)
10分30秒	⑧佐藤	㉒ブガルスキー
11分9秒		㉓ブガルスキー
12分10秒		
13分35秒	⑨木野	
15分8秒		
15分44秒	⑩木野	
16分52秒		
19分40秒		
20分12秒	⑪蒲生	
21分12秒	⑫飯田	
23分6秒		
24分2秒		
24分55秒		
25分30秒		
25分7秒		
28分22秒		

・(7)は7MT

日本ハンドボール協会公認球

## シムレスハンドボール

- パスワークのささ
- オーソドックスなデザイン
- ハンドリングのよさ

TACHIKARA タチカラ株式会社





# ユーゴ快攻、三景近よれず

第2戦・三景（東京、全日本実業団5位）との試合は2日午後2時31分から東京体育館で行われた審判員岡前義春、大塚文雄。観衆約二千五百。

ユーゴス 35 (19 | 10 | 3) 13 三景

得点 0 0 3 2 0 0 0 0 3 3 1 1  
景 牧藤木政藤田田森梨平森  
近々藤田田森梨平森  
三 西佐加内積喜※高上高

GK F P  
ア コスチトクークチチチチチ  
ビ リツヤキ ツツツツツツツ  
ラ スムムムムムムムムムムム  
ゴ イアルクガ デプリスザル  
ユー ヌソフホボミララララララ  
得点 0 0 2 6 3 6 4 4 3 3 1 1 3 3  
※近森（三陽商会、元大崎電気）  
は特別補強選手

7MT (1) 13 景

## 観戦記 大國拓哉

(読売新聞 運動部)

ミュンヘン五輪の金メダルと全日本実業団選手権大会五位の対戦。勝敗は別として、三景が王者の持てる力をどのように引き出すかに焦点があった。しかし、結果は三景に、当って砕けるの闘志が見られなかったことから、王者の實力を引き出すどころが「つつまらぬ試合」（スタン

ドのファン・中島裕康さん）に終ってしまった。

ユーゴは堅守のGKアルスラナジッチがベンチを暖め、攻撃の主力「LLコンビ」のラブルニッチ、ラザレビッチの両選手も得点を奪われた直後だけ、顔見せ程度にコートへ出すといった手控えよう。それでも余裕たっぷり。両サイドを十分に生かしたパスワークで三景デフェンスをゆさぶってはポストプレーでゴールを攻めた。

そして2分、ブガルスキーが正面から切り込み先取点をあげる。新鋭の左腕、ミルヤクのジャンプ豊かなロングシュートなどで

9分には早くも6点を連取、試合を一方向的にした。これに対し、三景は「金メダル・チーム」を意識しすぎたせい、立ちあがりからコチコチ、基本技であるパスキヤッチにまでミスを連発して意気消沈。前半わずかに近森（特別補強）、佐々木の両ミュンヘン五輪代表の個人技などで3点をあげただけだった。

後半に入ってもユーゴは攻撃の手をゆるめず2分、ラザレビッチの7MTをきっかけに、まるで赤子の手をひねるように7分までに5連続ゴールして差を広げた。

これは、スタンドのファンもジツとしてはいられなかった。「なんとかしる」と、三景の不がいなさをなじる声があちこちからあがった。このスタンドの怒りがユーゴにもわかつたらしく、その後



高打のニッチ（山口芳則）のシュート（三景突破）を相手からのブロックで止める様子

は掃陣をゆるめ、GKもゾルコから経験浅いニムスに代えるなどして三景に得点チャンスを与えてくれた。「日本の技術はすぐれている。でも国際試合の経験があまりにも少なすぎる（ユーゴは

毎年最低で四十試合はしている。日本は良いときで十試合）。それがミュンヘン五輪での差となったのだと思う。もっと国際試合を多くやらなくては」と来日早々いっていたスノイ監督も、あまりの手ごたえのなさに「これも経験のうちかな」と首をすくめた。

明年の世界選手権、そしてモントリオール五輪を目指す選手強化の一環として招いたユーゴだが、三景のような元気のなさでは強化はおろか、せつかくのファンにも「ハンドボールとはつまらぬもの」とそっぽをむかれる要因にもなり、普及面でもマイナス。弱者ながらも最後まで力一杯のプレーをしなくては相手に失礼だ。こんな調子では二度と日本には……という国が出ることもなかりかねないだろう。どうせやるなら相手の力を引き出してこそ招待の効果があがる。単独チームよりは目標をもつ全日本チームを一日も早く作り、一つでも多くぶっつけてこそ、実のある練習試合となったのではなからうか。

### 技術評

T・ミハイロビッチ (ベズニッキ 抵特派員)

三景は一つのミステークをおかした。それは、彼らがユーゴに対して、日本国内のチームと対戦する時と同じような戦術で臨んだことである。

三景の特色は、技巧的なプレーにあるそうだが、ユーゴのような長身者を揃えたディフェンスに向かって、やたらにポストヘンショートパスを通そうとしたり、空間パスで突破口を狙っていたのは、まったくムダというものである。

三景は「挑戦」者として、もっと果敢に走り、突き進むべきだったのではなからうか。ディフェンス面に於いてもまったく無防備であった。そのためユーゴは80%をこすシュート成功率をマークすることができた。

もちろん、三景にまったくよいプレーがなかったわけではない。西ドイツで活躍していた近森は練習不足といながら、考えたプレーをみせていたし、高梨の鋭い動きも目立った。しかし、残念なことに、それらはあまりにも散発的で、60分間連続することがない。

三景が、きょうのようなテンポとペースで、日本国内の試合に勝ち進んでいるのだとしたら、それはあまりよい傾向とは云えない。三景の善戦を期待して、この大ホールに集って観衆たちは、不満な気持ちで帰途についたのではない。か。（談、文責、編集部。ミハイロビッチ氏は一行の渉外役を兼ね来日した。ベズニッキ・ザグレブ紙でハンドボール、サッカーを担当しているスポーツライター）



# 大崎、前半互格の健闘

第3戦・大崎電気(全日本実業団第3位)との試合は、4日午後6時31分から盛岡市青山の岩手県管体育館で行われた。審判は由利弘、佐々木茂喜。観衆は約千八百人。

## 後記

ユーゴは後半、本来の力を発揮して大崎電気を圧倒、速攻やサイドからのタイミングをはずしたシュートなどを決め、金の貫録を示した。前半、先取点を挙げたのは大崎電気。

## ユーゴナショナル来日選手名簿

団長	ブランコ・ガシヴォーダ (48)	ユーゴクロアチヤアンハンドボール協会副会長、銀行支配人
監督	イワン・スノイ (50)	ナショナルチーム監督、教員
コーチ	ヨシツブ・ミリコビッチ (31)	ナショナルチームコーチ、スポーツトレーナー

選手	年令	身長 (cm)	体重 (kg)	職業	出場試合	得点
GK	① アバス・アルスラナジッチ (29)	189.	93	教員	67	0
	② ズデリコ・ゾルムコス (23)	186.	77	学生	23	4
	③ ジェリコ・ニコビッチ (23)	187.	83	学生	4	115
FP	④ ミロスラフ・ブリバニッチ (27)	186.	77	電気技師	62	114
	⑤ ベター・ファイリッチ (31)	180.	80	塗装技師	77	125
	⑥ ジョルジュ・ラブルニッチ (27)	192.	91	技師	117	33
	⑦ スロボダン・ミスコバット (29)	185.	88	技師	50	71
	⑧ ハルボエ・ホルバット (27)	190.	85	技師	7	5
	⑨ プラニスラフ・ポクラヤク (26)	183.	78	技師	33	6
	⑩ セドミル・プガルスキー (30)	178.	82	技師	50	71
	⑪ ドラゴ・ミルビヤク (22)	189.	85	技師	7	15
	⑫ ミラン・ラザレビッチ (25)	188.	85	技師	15	7
	⑬ ズドラフコ・ラデノビッチ (21)	194.	80	技師	5	15
	⑭ ズボンコ・セルダルジッチ (23)	186.	96	技師	6	15

随行者 トーマ・ミハイロビッチ (40) 「ベズニッキ・ザグレブ」紙特派員

- 内数字は日本での背番号
- ・公式国際試合出場数は今回の遠征(2試合)を含む
- ・日本での得点は6試合の合計

大崎電気。40秒に沢田が左45度から中央へ流れるように切り込んでシュート、鮮やかな先取点だった。



第3戦、前半にみせた大崎電気の健闘は鮮やかだった。速攻から豪快なシュートを放つ沢田(岩手日報・撮影)

しかし、ユーゴは後半見違えるように動きがよくなり、立て続けに4点連取するなどして大崎電気を大きくリード。ディフェンスの面でも、大崎電気のフォアメーションを封じ、わずかに3点を抑えて大勝した。

ユーゴの平均身長は187センチと大崎電気より約10センチ上回っているが、プレーそのものは素早く、速攻、切り込みシュート、サイドシュートと多彩な攻撃を展開、力と技術を備えたゴールメダリストチームにあざわしい試合をみせてくれた。一方、大崎電気も後半、大差をつけられたものの若手が力をつけてきており、今

後が期待される。

この記事は、9月5日付岩手日報に掲載されたものを、同社の御厚意で転載しました。

【大崎】 得点 0030034010000  
 岩手県 東藤 章井田 池口 湖文  
 大崎 佐藤 菊 藤

GK アスチチチクチチトク  
 ラジッチ ユツキ  
 ナビニヤニバニバ  
 スムラニヤニバニバ  
 ナビニヤニバニバ  
 ナビニヤニバニバ

FP ニアラフミララホポ  
 ニアラフミララホポ  
 ニアラフミララホポ  
 ニアラフミララホポ  
 ニアラフミララホポ

▽交代 FPセルダルジッチ得0  
 ※菊池選手(早大)は特別補強選手

技術評 北村 尚英

ユーゴは、速攻と堅い防御を基本にしたオールラウンドの理想的なチームといえよう。

一人一人がバネのような体と、スタミナを基礎とした走力、シュート力とゲームの流れに対する「読み」を持っており、その「読み」と個人技のかみ合せで、それほど早さやすごさを感じさせずに攻め、そして守っている。従ってきわどいプレーや派手なプレーは少なく、確実性がある。

速攻にしても一人だけが走るということは少なく、一人が走ったあとを二人、三人と波状的に走るという日本の速攻を見せた。

防御においてはキーパーとのコンビでシュートを打たせて守るという型をとっている。これもアルスラナジッチという優秀なゴールキーパーがいるから出来ることである。六人が常に等間隔で動き、ボールに対する「つめ」、横へのフォロウの速さで非常に厚味を感じさせる。ポストへの侵入に對しては、強い当り内には絶対入れないように気を使っている。

日本チームは、攻撃においてあらかじめ決められたフォーメーションでなければ攻められないようであるが、これではいつまでもヨーロッパチームにはかなうまい。

(岩手協会技術委員、42年度全日本男子監督)



# 速い動きで大同善戦

## ユーゴ、藤中にマンツウマン

第4戦・大同製鋼（NHK杯、全日本実業団優勝）との試合は6

日午後6時30分から名古屋・愛知県体育館で行われた。審判員は福

石三二、奥村方志、観衆は約四千

ユーゴス 26 (131-110) 16 大同製鋼  
ラビア 270430000  
【大柳】野藤加松花柳中石

【同兄】田中藤原輪弟井川  
得0 270430000  
【大柳】野藤加松花柳中石

### 観戦記

改田智洋

（朝日新聞名古屋本社運動部）

「何んとかひとあわぶかせてやりたい。チームが好調とはいえないが、選手はやる気十分です」ユーゴ戦が行なわれる前日の五日夜、大同製鋼の中浜監督はこうい

った。「金ダゲルチーム」には通じな

た。エース中井が左手首をねんざしているうえ、盲腸を手術した直後。それほどかかべテラン野田は下痢気味で試合前一週間ほど食事

も満足していなかった。このため藤中、花輪、松原にたよらざるを得なくなった。この状態では好調な時と比べると得点力はぐっと

落ちる。だが大同は立上がりから果敢な動きを見せた。守っては徹底したマンツーマンディフェンスをしき、攻めても速いパスワークからシュートにつなぐ。藤中がた

インまできがつてもついで来るという徹底したもの。いままでユーゴは横一線のディフェンスしかやらなかつたことからみてもいかに大同の速い動きにとまどつたかが

わかる。得点は6-3とユーゴリードの時点だったが、うち2点が7MT。このうえ藤中にかきまわされて差をつめられたら試合のベ

ースを奪われてしまうと思つたのだらう。試合終了後の記者会見でもスノイ監督は「藤中の手首を効かしたシュートとパスワークに、うちのGKやFPがとまどつてい

た」といったほどだ。ペースをくずさなかつたユーゴは今度はたみかけるような攻撃に出た。ロングシュートを打つとみてはボクラーヤクのポストブレ

ヨーロッパのフアンは彼のこ

とを豹と呼ぶ。ゴール前に立ち

はだかり、えもの（シュート）

を狙う精かんなプレー、正に異名どおりである。だが、この豹、ひとたびユニホームを脱ぐと、実に柔らかな、人あたりのいい男だ。

### アルスラナジツチ選手訪問

「本田はミエンヘンの時よりいっそう老練になりましたネ。防禦技術、勇氣、冷静さ、扶勢判断——どれをとっても世界一流です。下里も今がアブラののり切った時期でしょう。」

ただ、もう少し日本のGKはステツブを大きくしたら、もっと機敏な動きができると思いますが——

温和しい口調、故郷には6才になる一人息子、やさしいパパの帰りを待っている。おみやげはキモノ、人形、沢山のシャツ……

「蒸し暑さを除いては、今回の遠征はすばらしいの一語です。それにしても、人間と車が多いのには驚きました。それでいながら滞在中交通事故を見かけたのは一回だけでした。比べものにならないほどすいているユーゴでもっと事故はあります」



に遅かった。ヨーロッパ勢との対戦では横か下からのシュートが効果的とよくいわれる。事実、藤中が連続得点したのは横か、下を狙ったものだった。ユーゴがとまどっている前半10分間の勝負どころでこのシュートが出なかったのはくやまれる。これでリードを保って押しまくっていれば試合展開はもっと変わっていただろう。それと野田は得意の倒れ込みシュートを一本決めたが、中井とともに木調子でなかったのも大きく響いた。

### 技術評

古沢辰郎

試合開始1分、大同は速攻による先取点をあげ、幸先よい滑り出しをみせたが、その後はユーゴの固いディフェンスによって、国内試合でみせる幅広い攻撃の糸口を

なかなかつかめなかった。

ユーゴの防禦は、主に一線の型をとり、パスに対する鋭いヨミから生ずる詰めの速さと、そのおとりのポストカバー（ピストシ）の正確さでロングシュートを封じ、ポストプレーをも防いだ。

また、この日当たっている藤中に対して密着マンツウマンを行なったり、攻撃側45度のブレイヤー（中井）とサイドマン（野田）とのパスコースに一人出る変則的な1・5ディフェンスをとって、サイド攻撃の芽をつみ、攻撃のリズムを狂わすなど、臨機応変な守りをみせた。

このディフェンスに対し、大同はダブルポストで攻撃を仕掛けた。

前半、ロングシュートは早目につぶされ、ポストの動きは、身体

れ、得意の速攻もGKの堅守に阻まれ、波に乗れなかった。

後半、藤中の再度にわたる頭腦的なジャンプシュートによる得点からきつかけをつかんだかにみえたが、サイドからポストへのパスが長身でリーチの長い相手にカットされるなど、今一つ本来のテンポにのれなかったのは惜しまれる。

守りの面で大同は、半マンツウマン的な体型と1・5をとり、早目々に当たることによって、ある程度、ロングシュートを防ぐことができたが、ゴールエリア附近の守りが手ろすになった。

ユーゴは、この大同の動きをよくみて、センター・スリーのローリングからポストの動きに合わせてパスを通し、全得点の三分の一をポストプレーで決めた。そしてディフェンスの詰めが少し遅れると、フリースローラインの外側から鋭快なロングシュートを打ち、ディフェンスが孤立して1対1になれば、フレイントを使って抜きサイドからはボクラヤクが決めるなど、実に多彩な攻撃を展開した。

両チームともよく走り、スピーディな試合運びとなったが、選手交替をひんばんに行ない、疲労を未然に防いだユーゴは、前・後半を通してすばらしい速攻を披露した。

「金」メダルチームに対し、大同は、病後まだ完全に復調していない中井を加え、気力と高度なテクニックで善戦したが、体格・体力の差はいかんともしがたかった

（愛知協会技術委員）

大同、連勝 昨年12月10日の全記録止まる 日本総合選手権・対大崎電気戦以来、2引き分けをはさんで41連勝をつづけていた大同製鋼の不敗記録は終止符が打たれた。

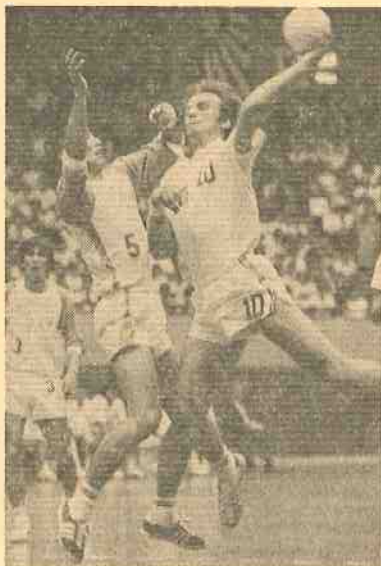
★注目の スノイ監督の片腕と

新コーチ してユーゴに金メダルをもたらす陰の殊勲者となったステンツェル元コーチに代って、新しくその座に就いたミリコビッチ氏（31才）は、過去8年間ナショナルブレイヤーとして活躍、4年前、交通事故で選手生活を断念、それ以降、ステンツェル氏の次席コーチをつとめていた人。

スノイ監督に言わせると、ユーゴの生んだもつとも秀れた選手の一人ということであった。

★ミルヤク 将来のエースと評

50試合記念 判高いミルヤクが京都での対全日本戦で公式国際試合出場50回をマーク。ユーゴ協会の慣例で、記念メダルが試合前の開会式で、ガシウォード団長（ユーゴ協会理事）から贈られ、場内を埋めた観衆の盛んな拍手を浴びた。



大同戦。ミルヤク、秀れたジャンプ力を活かして鋭いシュートを放つ  
（中日新聞提供）

# ミカドハンドボール

TRADE MARK

日本ハンドボール協会公認球

## 三カド商会

東京・豊島・巢鴨・7丁目1696  
TEL (941) 2635・6592





# ユーゴあっさり逆転

## 湧永薬品、先制も実らず

### 観戦記

小山敏昭

(共同通信社  
大阪運動部)

第5戦・湧永薬品(47年度全日本総合選手権優勝)との試合は8日午後6時から大阪市中央体育館で行なわれた。審判員は東嘉伸、新村理文、観衆は約四千ユーゴス 28(14|14|8)14 湧永薬品 ラビア

得00121521101  
永井原野永橋 田川中積  
【湧今※市木※高 森 戸※田※

GK

FP

【ユゾニブラミフブセラホポラミ得00133423111133628

▽交代 GKアルスラナジッチ、※福井(中京大)、有永(大阪福島)、津川、穂積(ともに大阪経大)は特別補強選手

という感じのゲームだった。先制点は湧永だった。1分過ぎ右サイドから高橋がGKの足元を抜いた。そして5分18秒、右サイ

Dから逆速攻をかけ、森が加点した。2-0、湧永の選手一人一人が『もしかしたら』の感を持ったに違いない。しかしその期待も5-13と湧永がリードして迎えた12分過ぎには、まったく消えうせてしまった。ユーゴが、ラブルニッチ、ラザレビッチの両巨砲、若手のミルヤクとベストメンパーを編成し、反撃にかかったからだ。精力的な動き、力強いシュートは日本でもあまり高くない湧永のディフェンスをあっさり突破してしまつた。18分13秒、シュートカットからの速攻でファイフリッチが決

7MT (2) 14

17才でナショナルプレイヤーになった。層の厚い欧州、いかに秀れた天分を持っていたかが判る。裁判官が志望、着実にその道を歩いているというのが目下のところ軍籍にある。帰国後、約20日で除隊という。

「そうしたら、法律とハンドボールをまた熱心にやりますよ」  
去年はすばらしい年だった。3月にヨーロッパカップ優勝、9月に金メダル。「若手が伸びて来たし、もうそろそろ退く時だとも思うのですが」と言

### ホルバット主将訪問

入れた。彼は笑うだけ。温厚な人だ。すでに公式国際試合出場12回視野の広いプレーは定評がある。あなたのみた、世界最高のプレイヤーは、

「監督が『まだまだ、やってもい監督が』まだまだ、やってもい監督が『まだまだ、やってもい監督が』まだまだ、やってもい監督が」

「優勝するために努力を惜しまない。今回の日本遠征はそのための訓練の一過程だった。」

「日本での毎日はずべて順調だった。客をもてなす友情、親切にあふれた日本人たちに選手はみんな感謝している。」

めて同点。18分55秒には新人のセルダルジッチが中央から強引にゲットして逆転してしまつた。それから追いついた気易さからか、パスを組み立てて湧永守備陣を揺さぶったり、ドリブルから速攻をかけた。こにくらしいほどのフ

ムメーカーの木野さえもユーゴの迫力に圧倒され、切れのいいプレーがほとんど見られなかった。14-8と6点差で終わった前半

★「時計は持 外国選手の日本 っています」 みやげといえは カメラ、着物、時計がベスト3だが、ユーゴ選手は「時計は結構」という。それもそのはず、彼らはミュンヘン優勝の御褒美としてチ



最も印象に残ったのは、ゲームに対する意欲と執念である。

どのような点差になっても、全員が自分の立ち場を忠実に守っている。

体力もすごい。60分間走り、動き廻って、しかもリズムカルなポーズバランスを失なわない。今さらながら「世界の壮絶さ」を知った思いだ。

## ラザレビッチ選手訪問

— 学校で習ったり、本や写真でしか知り得なかった日本に連れて来て嬉しかった。この上なく組織化された社会、よく訓練された忙しげに働く人々。それはのんびりした我が国に比べ驚くべきことだった。また、極めてモダンな建物や生活用具が多いのにもびっくりした。短期間のため京都、名古屋など史跡をじっくり鑑賞できなかったのが残念である。

また、日本人の生活の中にハンドボールがどのように溶けこんでいるのかも知れたかった。

ところで、我々は数年前まで日本のハンドボールにある意味のコンプレックスを感じていた。

ユーゴというチームはどちらかというと技術派でその上に世界の他の強豪の持つ力強さも備えているから鬼に金棒である。

特に、防御はいくつかのディフェンスフォーメーションを持ち対戦チームの攻撃により最も適合したものを採用している。休みを入れることなく足を使って動き回り腕でリズムをつくり相手に対する早いつめ、相手の動きを読んだ組織力、機を見てのボールカット、声の連絡、又掃陣の早さは観戦し

ていたハンドボールマンに良き教科書を与えてくれた。

相手の攻撃に対し、相手バスターのコースを完全につぶしカットをねらって逆速攻に転じた。特別のプレーヤー以外はどのディフェンスポジションでもこなしている。

攻撃は味方ボールになるやすばらしい判断力により速攻に転じ、進むにつれてスピードが増し相手の掃陣をほんるうさせ強烈なシュートに結びつける。又キーパーの

ボール出しも日本のキーパーに較べ球足は早くないが正確に走っているプレーヤーの前に落とすといった感じで、前に出ないと見るや一気に近くにパスをする。

セットにおいては、ズラシのプレーが多くフォーメーションに生かされていた。日本のポストプレーはポストに位置しているというプレーが多いが彼等はポストプレーするために位置しそれを完全に生かしてシュートに結びつける。

その後、我々は非常な研究と努力を重ね、ミュンヘンで日本に勝ち劣等感が一気にとれた。オリンピックで日本に勝ったことが、ユーゴのハンドボールに大きな転機をもたらせた、ともいえる。

日本は研究熱心で、良いハンドボールと悪いハンドボールを区別できる能力があるから、やがて今よりレベルアップして、再びユーゴの前に立ちかかってくるだろう。

日本には小柄で俊敏な選手は沢山いるが、大型、長身者に人を得ていない。そのため、フリーシューターの外側に日本選手が居る時は、なんら恐威を感じさせず、警戒心をおこさせない。遠い地点から、強い弾丸のようなシュートを射つ選手が3人は居なければ、

小柄で優秀な選手たちも結局は活きてこない。

ディフェンスもブロックする力（パワー）に不足している。

ユーゴは全員が相手の動きを封じるのにつねに忠実だし、どのようなシュートでもストッピングする自信がある。今回の対戦で、日本は我々のディフェンスから、大いに得るところがあったはずだ。

全日本の選手は、いたずらに技巧に走らず、徹底したからだづくりのトレーニングをすべきた。菊池や蒲生が、この点を自覚すれば、ロングシューター不足という日本の悩みは解決すると思う。

今回の対戦では、どの会場も満員となり、シリーズへの関心が高いことが判り嬉しかった。

ポストプレーヤーとしては世界一といわれるポポビッチが来日できなかったのが新人のセルダルジッチを入れていたが強引なポストプレーは立派に代役を果たしていた。

シュートとは決めるものだと信じ切っていて無駄なく自分より条件のよいシューターがいれば必ずそこにパスを送りシュートさせる点も見習いたい。又ノーマークの時には日本人のように全力でシュートする前にまずキーパーを良く判断してからシュートする余裕がみられた。

湧水薬品は試合開始から高橋の連攻、木野を中心としたローリングオフフェンスで相手をおびやかす13分まで6-3とリードし自己のペースを保ったのはよかった。

然しその後スケールの大きいゲームに体力を使い果たし、へばりもてつだって前、後半とも中頃より精彩を欠き攻撃には変化がなく防御の動きが止まったことは今後の研究課題である。

壁の高いディフェンスに対しシュートを横の変化でするとか、サイドの空間を利用したスカイプレーを組立てたり又ロングシュートをねらうことも必要である。

(大阪協会副理事長、前日本協会オリンピック対策部長)



# ユーゴ 驚異的なゲームスタミナ

## 蒲生(中)の4ゴール光る

最終戦(第6戦)は、全日本との第2回戦、公式国際試合として、9日午後1時25分から京都府立体育館で行なわれた。審判Ⅱ岡本克彰、補正三三、計時員Ⅱ藤本昇、記録員Ⅱ寺岡紀夫、観衆Ⅱ約三千五百。

ユーゴスラビア	23 (14)	9 (10)	14
全日本	14 (2)	7 (2)	14

結果論かも知れないが、この試合の明暗を決めたのは、前半24分50秒、佐藤の放ったアンダーシュートをアルスラナジッチが阻止したプレーにあったと思う。



第6戦・今回のシリーズで藤中(左13.大同)の活躍は一きわ光るものがあつた。(撮影・光島巖雄)

戦況は4-7、いきなり0-4とリードされた日本が、じわじわと盛り返し点差をつめ、むしろベースは日本に傾きかけた時である。セットから、左45度の佐藤が狙った足元への一発は、待ち構えて

たアルスラナジッチの正面をついた。それまで、日本の攻撃は、長い時は1分30秒近く、早くても40秒かかって、丹念にボールを廻していたのだが、この時だけは、実に仕掛けが早かった。勢いにのりすぎての射ち急ぎ、といったらば酷かもしれないが、ビッグゲームは、こうした微妙なワンプレーで、その後の局面が大きく変わってしまうものなのだ。この場をもちこたえたユーゴは、すかさず26分50秒ミスコビッチ、26分50秒ラブルニッチとたたみかけ、9-4。ユーゴは例によって直線的な速攻にサイドからの変化技をミックスさせ、立ちあがりから日本をおそった。スターティング・メンパー(FP)は、ボクラヤク、ミス

コビッチ、ブリバニッチ、フアイフリッチ、ミルヤク、ブガルスキー。平均身長184cmと、米日メンバーの中ではもっとも、小柄なスタッフ。だったが、決め技の多彩さと、スピードは巨砲陣とはちがった味がある。

GKからのワンパス速攻、出足をともなった詰めからのカットー独走、ダブルポストによる相手守備陣のかく乱……。考えてみればこのようなプレーは、すべて日本のお家芸ではなかったか。

それに、ユーゴは、防禦から攻撃、攻撃から防禦への切り替えが実に速くそのスピードが60分間、まったく同じなことには驚嘆させられた。

ゲームスタミナの差をこれほどはっきり露した国際試合は初めてである。

日本も悪い材料ばかりではなかった。特に、蒲生が後半4ゴールした思い切りのよいプレーはみごとである。ベンチも、彼自身も最後に自信をもてたはずだ。

### 技術評

小西 博喜

オリンピックの1位と11位、そのままの力量差が、すべての面に出た一戦である。特に強烈な印象を与えたのはユーゴの体力、気力だ。試合開始から終了のホイッスルまで、彼らはイキを抜くことがない。

近代化を誇る  
湧永薬品広島工場

湧永薬品  
株式会社



本社/大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901-5  
東京支店/東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996-7891

支店/横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌  
工場/広島・和歌山



日本・ユーゴ②  
ランニングスコア

【日本】 【ユーゴ】

前半

- 2分40秒
- 4分20秒
- 5分50秒
- 7分20秒
- 8分20秒
- 10分
- 11分55秒
- 13分35秒
- 17分20秒
- 18分30秒
- 21分
- 25分40秒
- 26分50秒

- ①木野
- ②藤中(7)
- ③氷海
- ④中村

- ①ミルヤク(7)
- ②ブリバニッチ
- ③ブリバニッチ
- ④ポク

- ⑤ホルバト
- ⑥ブリバニッチ
- ⑦ブリバニッチ

- ⑧ミスコピッチ
- ⑨ラフ

後半

- 1分30秒
- 2分30秒
- 4分44秒
- 5分25秒
- 6分10秒
- 7分15秒
- 7分45秒
- 10分35秒
- 11分15秒
- 14分50秒
- 16分30秒
- 17分01秒
- 20分
- 20分30秒
- 21分30秒
- 22分
- 23分20秒
- 24分
- 24分40秒
- 25分15秒
- 26分10秒
- 27分10秒
- 28分04秒
- 29分50秒

- ⑤蒲生
- ⑥蒲生
- ⑦蒲生
- ⑧藤中(7)
- ⑨中村(7)

- ⑩佐藤
- ⑪蒲生
- ⑫大江
- ⑬氷海
- ⑭大江

- ⑩ホルバト
- ⑪ポク
- ⑫ポク

- ⑬ホルバト
- ⑭ホルバト
- ⑮ホルバト

- ⑯ラフルニッチ
- ⑰ファイフリッチ

- ⑱ブルガスキー
- ⑲ミスコピッチ
- ⑳ミルヤク

- ㉑ホルバト

- ㉒ラフルニッチ(7)
- ㉓セルダ

本誌では次号にも「ユーゴ特集」を予定しています。投稿を期待します。

ユーゴナショナルチームは、ミューンヘンオリンピック後、日本遠征までに公式戦10試合を、いづれも自国で行っており、ルーマニアに1敗、東ドイツ、ソビエトに引き分けただけ。日本での2勝を加えて12戦9勝2分1敗と好調を示している。なお、本誌の調べでは、ユーゴは日本戦を終えて公式国際試合数は188となり成績は10勝20分62敗。

それに比べて全日本は、完全にスタミナ不足だった。第1戦でユーゴの実力を改めて知らされた全日本が、どのような立ちなおりを示すか、興味深かったのだが、底流となるべき「活力」が欠けては、正直のところ、なす術(すべ)がない、といってもよいだろう。当然、それはスピードの優劣という決定的な差にあらわれてくる。

特に、なだれこむような直線速攻は、迫りに満ち、日本はディフェンス態勢を満足に布くことさえできない面がしばしばあった。

しかも、ユーゴは、ただ走り、突き進むのではなく、全選手が己れの立ち場(ポジジョン)をよくわきまえている。

パスコース、走るコースとタイ

ミンゲのよさは、もうそれだけで一つのフォーメーションプレーとしての効果を、相手守備陣に影響させるのだ。

定評のあるディフェンス。つねに全員が一本の糸で結ばれたように動き、おそらくベンチからホルバト又はポクヤクという指示系統によるであろう臨機応変のシフトは鮮やかであった。スピードの落ちないフットワークが、そのベースになっていることはもちろんである。

GKアルスラナジッチの存在も大きい。彼とFPとの連けいで、相手のシュートを誘いこむプレーをみせた。野球で云えば「打たせて捕る」といったところだ。

全日本は、やはり、新旧の間のコンピネーションがまだ整っていない。

木野、41公式試合に得点

中央攻撃、高打点攻撃の威力をユーゴはますますと見せつけたが彼らは、サイド、ポストからの技巧を、うまく織りこんでいる。この面では、日本もスカイプレーなどの空間パスを駆使して互角とみたい。

スタミナづくりと大型化。モントリオールまであと3年、全日本の課題は、はっきりしたと思うのだが――。(京都協会理事長)

全日本・木野実選手(立大1)湧永薬品)が続いている公式国際試合の連続得点記録は、同選手がデビューした41年9月の中国戦(駒沢)以来、今回のユーゴ戦2試合までで41試合10ゴールに伸びた。

全日本男子54試合目の公式戦全日本男子の公式国際試合(7人制)は、ユーゴシリーズ(2試合)を終って54戦となり、成績は21勝3分30敗とかわった。

ユーゴとは通算5戦1勝1分3敗。

日本国内における通算成績は11戦(スウェーデン4、ユーゴ、イスラエル、韓国各2、中国1)5勝6敗である。

ユーゴ、五輪後も好調

省力化に貢献する

工業ファスナーのコンサルタント

株式会社 大山商会

大阪市浪速区元町2丁目108番地 電話(大阪)06-632-2241(代表)



# HONDA の 5文字は世界を走る!!

次から次と独創的な製品を発表し、つねに世界に話題を提供するホンダ「世界に類のないものを創ろう!」このホンダイズムから生まれる魅力ある製品は海外150ヵ国の人々に愛され「技術のホンダ」「世界のホンダ」として高い信頼を得ています。

CIVIC



本田技研工業(株)鈴鹿製作所

三重県鈴鹿市平田町1007 TEL 0593-78-1212(代)



飛行機にゆられること30時間  
長い旅であった。しかし、羽田  
で、見覚えのある荒川日本協会  
理事長ら、日本の関係者の顔を  
見た時、私は「来てよかった」  
と思った。

我々は過去、日本とまったく  
五角の成績であった。1勝1分  
1敗、今回の来日を「日本との  
決勝だ」と私は云い、選手たち  
も充分それを理解した。

我々は、はじめのうち、日本  
の技術を吸収するのに一生懸命  
だった。速く、そして戦闘的な  
日本のプレーを一生懸命学んだ  
ものである。それまでのユーロ  
ッパの試合と言えば「ゆっくり  
攻める、ゆっくり攻める」であ  
ったのだが、日本は美しいほど  
速かった。

その日本と日本で試合ができ  
る。――すばらしいことであ  
った。

### 日本遠征は大目標の一過程

フジヤマ、キョウト。日本に  
は魅力的な場所が多い。しかし  
我々は観光が目的で旅をして来  
たのではない。5ヶ月後にせま  
った世界選手権、そしてモン  
リオールまであと3年だ。  
母国の人たちは、ユーゴのハ  
ンドボールチームが負けるなど

とは思っていない。それに応える  
ためには毎日々々、トレーニング  
トレーニングをつづける以外に道  
はない。

世界選手権で勝ち、モントリオ  
ールで勝つために、日本遠征は重  
大な意味をもつ「一過程」であ  
った。

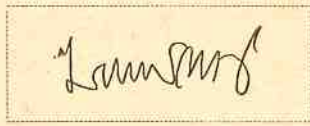
その試練を6戦全勝で飾り得た

## 日本を去るにあたって



ユーゴスラビア  
監督

イワン・スノイ



ことに私は満足している。

### 自分の役割に全力を

ところで、今回、日本チームと  
接して、私はいささか意外な印象  
をうけた。

かつての全日本は、より多くボ  
ールに触ろうとして努力を惜しま  
なかった。それがヨーロッパの関

係者を驚嘆させたスピードプレー  
を生む一因になっていたものだ。  
そのよさを今は失っている。

動きの速さは相変らずだが、プ  
レイヤーたちの位置のとりかたが  
以前に劣る。自分の役割を全力で  
くして果たそうとする気迫がな  
い。この点すばらしいのはGKB本  
田だ。彼のように全員が、自分の

「変型1・5」は近藤封じ  
全日本が、新旧交替の時期にあ  
ることは聞いた。一口でいうが、  
これは難事業だ。  
若く、新しい全日本は、木野や  
近藤や近藤(信行選手、元大崎電  
気)たちの持っている激しさ、速  
さ、頭脳を受け継ぐ努力を惜しん  
ではならない。

余談になるが、私は、これまで  
日本の生んだ最高のプレイヤーは  
近藤信行であると思う。

実は、彼がミュンヘンに参加す  
るものと思い、そのシャープで臨  
機応変の攻撃を封じるために考え  
だしたのが「変型1・5シフト」  
である(編集部注・通常1・5デ  
ィフェンスのトップは中央に位置  
するが、変型は、思い切ってトッ  
プが左右どちらかのサイドライ  
ンに近づき、5人の列と直角にな  
るような姿勢で守る)。

### 身につけよ守りの力

日本チームの欠点の一つとし  
て、守りのもろさあげられる。

極端に云えば、ハンドボールは  
1対0で勝てるスポーツなのだ。  
守りの力を持たない選手を、ナシ  
ョナルは必要としない。

この点、日本選手は、防禦力と  
攻撃力がアンバランスだ。

もっと激しく、そしてもっと  
強く相手の攻撃者を封じる動き  
を示さなくてはいけない。その  
ための体力、柔軟性の養成を日  
頃から考えるべきだ。強く激し  
くというのは「荒く」というこ  
とをいっているのではない。  
誤解しないで欲しい。

### いつまでも好敵手・日本

次の機会に出会った時、日本  
の実力が驚くほどになっていて  
欲しいものである。

多くのものを教えてくれた日  
本。いつまでも我々にとって好  
敵手であることを、今回の遠征  
で確認したのも事実である。

生涯忘れられることのできないす  
ばらしい13日間、改めて日本の  
ハンドボールファン、すべての  
関係者の示された友情と、ゆき  
とどいた親切に心から感謝のこ  
とばを述べたい。(談、文責・  
編集部。写真下の凸版はスノイ  
氏のサイン)

### イワン・スノイ 「すべて

ハンドボールのためにする  
男」といわれる情熱家。一九  
二三年生まれ、すでにユーゴ  
ナショナルの監督を22年間つ  
とめている。職業は専門学校の  
のスポーツ教官。





■ジューキマシンは精密工学の結晶とたたわれる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。

# 鍛えぬかれたフォームにこそ、 メカの真髓がある



## ジューキ

東京重機工業株式会社



# ユーゴ戦に拾う

□：各地のファンをたんのろさせたユーゴチームだが、一点の失望は、名ボストマン、N・ポ

ポビッチが来日しなかったこと。1 m 81、日本選手と同型で

欧州通に言わせると、彼のプレーこそ我が国に示唆するものも

もっとも大きかったはず、という。不参加の理由は、9月10日

から医師になる試験が始まるため、スノイ監督は「日本のファンには申し訳ないが、彼の将来を考えた」という。

□：一方、全日本の野田清選手（大同製鋼）も、社内の責任あ

りながら、開場と同時に続々とファンが詰めかけた。都外ナンバーの

大型バスも二台、三台と乗りつけてくる……。9月1日の東京

体育館。開会式時には五千二百九十の座席はみごとに埋まった

リカット写真。▽：「東京は入らない」というのが、最近のかんばしくない定評だった。あのオリンピックア

る立ち場から、どうしても抜けることができず、東京、京都大会に欠場した。

ミュンヘン後、仕事とハンドボール（全日本）の両立に悩んでいた野田だけに、今回も「苦しんだあげく

の結論」と周囲は暖かい目でみている。

□：両名手ともいかにもアマチュアらしい欠席届ではなかるるか。

▽：義務販売いっさいなし全券予約制を

発表した時「ますます入りになる」とい

う批評の声もあつたが、運営委

を兼ねた荒川理事長ら執行部はあえてそれを強行した。団体動

員ゼロ。心からハンドボールを愛し、ハンドボールを見たい人が集まったといえる第一戦の賑

いであった。



◇：「僕はまったくラッキー」というのはZ・ラデノビッチ選手（FP）。

ソビエト戦（7月）で右手を骨折したオリンピック代表、M

カラリッチ選手の回復が思わしくないため急

に来日メンバーに加わった

◇：日本協会

○：地道な活動ながら、着

部調査班が、ユーゴ選手の

体力測定を8月31日、東京

○：ホレボレするような筋肉美

をみせて、選手たちは次々と「日本のハンドボールのためになるなら」と快諾してく

でも、飛行機の乗客リストを見て変更を知ったが、ユーゴ側も

よほど急いだとみえて、彼に合うユニホームがなく、予備に持

参したGKの控え用「12番」で全試合を通した。

◇：このような騒ぎをよそにラデノビッチは、つかんだチャン

スをもにしようとして、出番が来ると大変な張り切りよう。全日本戦（公式試合）には出場の機

会に恵まれなかったが、他の4戦では7点をあげた。BからA

へ昇格の厳しさをまのあたりにみせた一駒である。

してみると、▽垂直跳セルダルジッチ63 cm、▽握力ニ

ムス 右77、左68 kg、▽背筋力ミルヤク252 kg、▽50 m走 ラザ

レビッチ、ポクラクヤクともに6.5秒。驚異的なのはポールスピー

## ユーゴ戦に拾う



### オリンピックの技術が生きている。

東京、メキシコ、ミュンヘンと連続3回オリンピック試合球に選ばれたミカサの超高級ナイロン糸巻きの技術の粋がこのボールにもすべてに生かされています。

（科学のボール・完全防水……クラリーノ製（準検定）もあります。）

日本ハンドボール協会検定球



明星ゴム工業株式会社

広島・東京・大阪・福岡・名古屋・札幌



# 日本勢、奥さんチームねじふす

## ラインハウゼン(西独) 1勝にとどまる

西ドイツ女子クラブ「ラインハウゼン・オリピック・スポーツクラブ」(ボルヘファア1団長ら役員7、選手13)は9月13日福岡国際空港着で来日。熊本、岐阜、東京、北海道の各都市で、国内トップレベルの単独実業団と5試合を行い、1勝4敗だった。

今秋から西ドイツの最上級リーグへ進出したチームとあって、その試合ぶりが期待されたが、女子スポーツに対する考えかたの根本的な違いからか、内容的には低調で、わずかに東京重機(第4戦)戦で気力を示しただけ、ファンや関係者を落たんさせた。

しかし、主婦を中心とし、日常生活のなかにハンドボールを溶けこませ、心からこのスポーツを楽しむラインハウゼンの「行きかた」には、多くの注目が集まり、市民スポーツへの浸透を企る日本ハンドボール界に一つのサンプルを示した、ともいえた。一行は9月24日夜羽田から帰途についた。(本誌では次号にも「ラインハウゼン特集」を予定)

○……グララーベン監督は目を丸くした「なんだって! 日本のチームは一週間6日も練習する? 我々は一週間1日、それも2時間しかないというのに……」

今度は、日本側がびっくりする番だった。「一週2時間ばかりで西ドイツのトップクラスにどうして入れるのか。」「あなたがたは、西ドイツの西部地域1部ではなかったのか。」「来日直前、西ドイツチャンピオン、アイントラクト・ミンデンを破ったと聞いているが」

「どれも事実さ。グララーベン氏は65才の老顔をこぼらせながら言ったものだ。」

○……同行したスポーツリポーター、W・パーテル氏(ヘルガ・バ

ーテル選手のご主人)はこう説明する。

「西ドイツの女子界には、男子のような全国リーグ(ブンデス・リーガ)はない。国内を五つの地域に分け、それが「一部」(リギョナル・リーガ)。その下にいくつもの地方リーグや市町リーグがあるのは男子と同じ。ラインハウゼンは今シーズンから久しぶりに西部地域リーグ(リギョナル・ウエスト)へカムバックした。しかし西ドイツの女子クラブで、どこに出しても恥ずかしくないのはFC・ニウルンベルグ、TSV・グットムス、アイントラクト・ミンデン、HT16ハンブルグ、グルンバイス・フランクフルトの5クラブぐらいのもの。あとはラインハ

ウゼンと同じレベルだ。だけど我々はちょっと弱いとは思っていない。」

○……グララーベン監督は「日本チームはアマチュアか」とも聞いた。25年近く西ドイツ女子ナショナルのコーチングスタッフとして活躍した同氏が、日本にこれほど強い単独チームがあるとは(しかも5チームも……)思わなかったらしい。

「もちろんアマチュアだ。西ドイツナショナルだって、すばらしい選手を集めているではないか。(注・日本×西ドイツ女子ナショナルの過去の対戦成績は、日本の5戦1勝4敗)」という日本協会役員の返答と質問に、グララーベン氏はいとも明快に答えた。「ナシ

ョナルチームは、別のアマチュアさ。」

○……このあたりの事情を、来日選手のうち、ただ一人のナショナルプレイヤー、ギーザラ・ゲールテン選手(GK)に聞いてみよう。

「現在、西ドイツの優秀な女子選手は特定クラブに片寄っています。その他のクラブからナショナルに選ばれた選手には1ヶ月単位の「個人練習課程」がコーチ団から送られて来ます。その選手は、それにしたがって、毎日一人で練習を積むのです。そして合宿(3〜5日間)で成果がテストされます。男子ほどでないにしろ、合宿などの経費は一切協会負担で休業補償もあります。しかし、西ドイツナショナルは年々力が落ちる一方でこのままでは今冬の世界選手権では好成績を望めずモントリオールにも行けないでしょう。」

○……日本側が、ラインハウゼンの「実力」に驚いたのと同様に彼女らは彼女らで、日本チームの「実情」は奇怪でさえあったらしい。

「日光浴以外の方法で、ましてハンドボールで女の子があんなに陽にやけるとは思わなかった。」

「一週のうち6日間も、仕事とハンドボールをやるんですって?」「クラブのスポンサーに企業がなるのではなく、ハンドボールをするために企業に入る? どういう

こと、それ。」「若い時、それだけ打ちこみながら結婚するとハンドボールをやめてしまうのはなぜなの?」

来日中、ラインハウゼンは「奥さんチーム」として、報道陣の注目をあびた。彼女らにはそれがどうしても判らない。

○……スポーツ観の違い、といったしまえば、それまでだ。西ドイツの女子は、ハンドボールを「体育」「健康」「美容」の手段としてとらえ、勝負は二の次なのである。勝負に目の色を変えるのは、比較的女子に人気のある地方のクラブか、ナショナルチームだけ。ラインハウゼンはそれらとはっきり一線を引き、ハンドボールを楽しむ集まりに徹している。

部員数50人。来日メンバーは、そのなかからえりすぐった「精鋭」だ。ママさんを含む主婦選手7人。平均年齢26・7才……。

○……パーテル氏も「ラインハウゼンは、特にそろした傾向が強調されているクラブの一つだ。選手たちは、ハンドボールを通じて外国遠征できるのを唯一の楽しみに行っており、毎シーズン、ヨーロッパのどこかへ行っている。日本遠征は大きな夢で全員2年前から貯金してきた」という。

そして「せっかくな日本に行くならよい成績で、と頑張ったおかげか、去年はニーデルハイン地区リ



1ゲで優勝(16戦11勝2分2敗)  
今年から西部の一部へ昇格でき  
た」ともいった。

彼女らはそれでいいだろう。む  
しろ、羨しい。環境だ。  
だが、6年ぶりの本場チーム、

▽第1戦(9月15日16時・熊本  
市体育館、観衆約三千)

大  
熊本 洋  
得001354310001  
原山 水田田崎原井田田  
大小森 米 垂山島蔵加植石篠矢

GK 審・中西 森  
7MT (1) 18  
ゼンテムワゼトスーシン  
ハルニツトツクテクス  
ラメコリクビボバビシス  
得00100000000020

○……ラインハウゼン(OSCR)  
は、立ちあがり4分7MTで先行  
したが、そのあとは、大洋の速攻  
にぼう然と立ちつくす不甲斐なき  
大洋は、いったんペースをつか  
むと、島田、山下らが容しなく  
攻め立て、守りでも鋭い出足で、  
OSCRにつけのスキを与えな  
かった。試合後、グラブ監督  
は「大洋の攻撃時に見せるボディ  
チェックは妨害行為(反則)だ」  
と不満をあらわした。

12月の世界選手権を前に、かっ  
この頂点強化と気負いこんだ日本  
協会は、完全に拍子ぬけの態であ  
る。

事前調査は十分だったか

▽第2戦(9月17日18時30分・岐  
阜県民体育館、観衆約二千五百)

田村紡 12(8-1-3) 6  
三重 12(8-1-3) 6  
ウゼンハ

GK 審・鈴木 橋石  
7MT (1) 12  
ゼンテムワゼトスーシン  
ハルニツトツクテクス  
ラメコリクビボバビシス  
得0010000000001

○……OSCRは、立ちあがりも  
たつき気味の田村紡を攻めて2点  
を取ったが、10分をすぎると、  
田村紡は動きがなめらかとな  
り、あっさり主導権を奪いかえし  
た。  
後半も、松下、三毛を中心にス  
ピードのある攻撃で押しまくり、  
一方的な展開となった。  
OSCRは、180cmのコールテを  
ポストに置くなど、反撃を試みた  
がスピード差がありすぎた。

○……実は、ラインハウゼンが、  
日本遠征を希望して来たのは、6  
年前にさかのぼる。  
西ドイツ西部では名門というだ  
けで詳細が判らぬまま月日が経っ  
た。46年くれ、全日本女子が久々

▽第3戦(9月18日18時30分・駒  
沢屋内球技場、観衆約一千五百)

大崎電気 15(7-1-1) 4  
嵐王 15(7-1-1) 4  
ウゼンハ

GK 審・佐野 安藤  
7MT (0) 15  
ゼンテムワゼトスーシン  
ハルニツトツクテクス  
ラメコリクビボバビシス  
得0031000000000

○……守りの要・ゲールテン(G  
K)が前夜、負傷したOSCRは  
いきなり大崎の速攻に7点を奪わ  
れて戦意をなくしてしまった。  
大崎は小さく速いパスをつない  
で相手ディフェンスをゆきぶりに  
佐藤、岩井の左右コンビが好シ  
ートを進発、スピード、タイミン  
グとも申し分なかった。OSCR  
で光ったのは後半15分40秒コー  
エローワのみせた跳びあがりなが  
らのバックハンドシュートだけ。

にヨーロッパへ遠征した時、再び  
強い来日希望が伝えられた。それ  
からまた2年余が経ち、日本協会  
はあらゆるデーターを集めて検討  
招待(滞在費のみ日本側)に踏み  
切った。

▽第4戦(9月21日18時30分・駒  
沢体育館、観衆約一千五百)

ラインハ 10(6-4-3) 9  
ウゼンハ 10(6-4-3) 9  
東京重機

GK 審・大塚 岡前  
7MT (0) 9  
ゼンテムワゼトスーシン  
ハルニツトツクテクス  
ラメコリクビボバビシス  
得002221101010020

○……重機が全日本1位(47年度)  
と聞いて闘志を燃やしたOSCR  
は、GKゲールテンの沈着な動き  
と、コールテの巧みなポスト攻撃  
をあげた。  
重機は、速攻、ポストともさ  
ず、しかも相手の荒い守りにペ  
スを乱され、特に終盤は焦るばか  
りで、プレーが強引すぎた。  
OSCRが徹底的な速攻で、日  
本の速さをかわしたのは老巧。

雑誌や書類だけでは心配だと  
かり4月来日のFA・ギョッピン  
ゲンの役員や、観光で来日した元  
西ドイツナショナルの名手、W  
シュドリッヒ氏(昭31来日メン  
バー)をホテルにわざわざ訪ねて、

▽第5戦(最終戦)(9月22日・茨  
城県水海道二高体育館、観衆二千)

日本本 11(7-4-3) 5  
茨城 11(7-4-3) 5  
ウゼンハ

GK 審・山内 齊藤  
7MT (0) 11  
ゼンテムワゼトスーシン  
ハルニツトツクテクス  
ラメコリクビボバビシス  
得0023030210000

○……ピクターが押し気味だ  
が、OSCRは中央部を長身選手  
で固める守りに粘り、せりあ  
いとなった。  
しかし、後半になるとピク  
ターのタテへの攻撃が威力を発揮、脚  
力の差も次第にあらわれた。活躍  
が目立ったのはGK鈴木。冷静な  
守りのほか、速攻への好パスア  
ウトで得点機をつくった。OSCR  
は後半、コールテが負傷欠場した  
のがひびいた。



OSC・ラインハウゼン  
来日選手団名簿

氏名	年齢	身長 cm	体重 kg
アーベントホルツ (57)	(28)	167	58
フレックホルツ (65)	(32)	164	56
ホルツ (30)	(26)	168	60
ボーク (30)	(30)	180	65
ボーク (30)	(30)	168	73
W. F. H. (30)	(32)	165	57
H. W. (27)	(27)	166	52
W. (30)	(28)	160	64
W. (32)	(24)	176	57
W. (20)	(20)	165	60
W. (31)	(21)	165	60
W. (20)	(20)	175	78

OSCR 女  
子 体 育 員  
監 督 夫 人  
E. エーデルン  
K. グラベン

ラインハウゼンの戦力を聞いた。いずれも答えは「いいチームだ。ナショナルブレイヤーもいるはず」……。

すっかり自信をもった日本協会は、ユーゴと併せて9月は、まさに「ゴールデン・マンスリー」（黄金月間）と宣伝したわけである。

○……ところが、西ドイツ球界がこのところ、まったく女子の強化を棚あげにしている事実はどこから「入手」できなかった。ボルプアー団長（ゲールテン選手の実父）は撫然として「ナショナルの監督になり手がいない。先シーズンの西ドイツ決勝も観客が千人しか集まらなかった。西ドイツ協会は男子の王座復帰に懸命で、女子はどうでもいいらしい」。

○……「それにしても弱い」というのは安藤、光島両日本協会常務

理事と二宮国際委員。3氏とも西ドイツ生活を経験、あちらのハンドボール界の消息には詳しい。

西ドイツ女子の「健康第一主義」を身近かに知ってはいたが、「ハンブルグ市内リーグあたりのほうがまだマシ」（安藤常務理事）と苦々しい顔だし、「共産圏以外の国から女子を招く場合は、やはりナショナル又はそれに準ずるチームでなくてはダメ」（二宮委員）。「日本勢の圧勝は西ドイツ側への警鐘になった。場合によっては、西ドイツ協会と交流協定をしたほうがいい」（光島常務理事）ということになる。

○……それは、ラインハウゼンの来日はなんのクラスにもならなかったのだから。

来日前から評判の高かったクーツェローワ、コールテ、GKG

ルテンらにはやはり、日本選手にはない力と技を示した。

特に、左腕クーツェローワは、かつてチェコ・ナショナルに在籍したこともあるだけに、鮮やかな攻守を見せ、なかでも走高とびの背面とびのように後向きに体をジャンプしてらせながら逆手（さかて）からシュートを決めるプレーは満場をどよめかし、「あれだけで招待の意義は十分」という声もあつたほど。ヨーロッパでは、5年前から一部で行われているというが、日本では男女を通じて初めて見る快技だ。このほか、全試合フルタイム出場したストリーピツシの精やかなプレーとドリブルの巧さも光つたし、どこかの会場でも「日本の女子があの年齢であれだけのプレーができるだろうか」という驚嘆の声があがった。

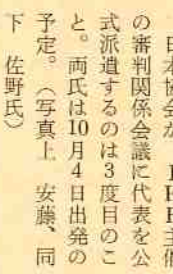
普及活動にヒント

○……日本協会・杉山企画担当常務理事は、「弱かった。リサーチ不足」を認めながらも招いたメリットをこう評価する。

「正直のところ冷水をかけられた感じ。国際試合という勝負ばかりを気にし、頂点強化のみにうつづをぬかしすぎた。

女子に限って、今回のようなチームが今後も来たいというなら、日本側もいわゆるクラブ、一般OGを相手に考えたい。滞在費の分

安藤、佐野両氏を派遣 国際審判 会議



日本協会は、10月7日から13日まで、ブルガリアのヴァルナで開催される「IHF（国際ハンドボール連盟）中央規則審判講習会」に安藤純光（45才、日本協会常務理事・審判部長、国際公認審判員、法大出法大教授）と佐野和夫（44才、国際公認審判員、東京教大出、都立秋川高教諭）の両氏を派遣することに決め、発表した。今回の会議は多発気味の反対対策、新しい競技規則の研究などが中心となる。

借金検出（今回は1会場50万円）に苦しむが、将来は普及対策の一環として予算化することもいいだろう。

○……たしかに、ラインハウゼンは日本ハンドボール界に、これまでの外来チームとはちがった。おみやげを残していつてくれた。対戦したある実業団選手は、はっきりと「私のハンドボール観が変わりました」といっているし、「あまり弱そうなので見に行く予定をとりやめたが、新聞で実態を知り、むしろ関心が高まりました。クラブの構成運営など教えて下さい」（東京・佐藤恭子さん）というOGからの手紙が本誌あてに届けられてもいる。

○……1勝4敗、総得点28、総失

点65。低調な成績に終わりながら彼女らの表情はさっぱりしている。「楽しみながら勝てるにこしたことはない」（コールテ選手）。

1勝した東京重機戦（21日・駒沢）。「全日本のチャンピオンだし……」とグラーベン監督は、だいぶハッパをかけたらしいが、ヴィーゼ選手を通じると、「どうせ1勝くらいで終るなら、いちはん強いところからということになったのよ」になる。同じ条件、同じ考えの仲間たちによる一部リーグは10月3日から開幕だ。

陽気なニュースター選手はいつものである。「リーグで勝つより、他のクラブの選手に日本遠征のみやげ話を聞かせて羨しがらせるのが楽しみだなあ……」。(Z)



# 西軍男子、4年ぶりの快勝

女子は東軍が大勝

恒例のオールスターズ・ゲーム第23回(女子第5回)全日本学生選抜東西対抗戦は、9月15日午後1時30分から、二千人近いファンを集めた名古屋・愛知県体育館で行なわれた。男子は接戦となったが、西軍が前半27分から一気に逆転、4年ぶりの勝利を飾った。

女子は、予想どおり東軍が一方的に押しまくり4連勝。

## 男子

これまでは、つねに速攻の東軍にセットの西軍がどう戦うか、がポイントであった。しかし、今回は発表さ

れた顔触れから、私はこの見方がそのままではまらないとみた。それは強肩大砲の穂積、津川に、攻撃の中村、守備の夏目、GK福井を配した西軍と、法政を軸に、巨漢菊池、巧者山村を加えた東軍とでは、全く互角の力と思えたからである。

ゲームの初めは緊張感と堅さがみられ、両軍共好調なスタートとは言えなかった。一進一退のゲーム運びから先取点は東軍があげられた。東軍はボールを左に集め、4分左サイドからの飛び込み、5分

リバウンドのフォロウ、そして7分左45度から、いずれも川島がゲットして3対0。このあたり左サイドを得意とする川島のマークが甘かった。ここで浮き足立つかに見えた西軍は、8分中村のフリースローと9分穂積のゲットで2点を挽回して食いだかりをみせ、さらに14分東軍の7米スローをGK穴倉が阻んで士気を盛り上げた。その後は両軍の動きもよくなり、26分6-6から西軍は、フォーメーションプレイングとスカイプレイングで勝ち越しの2点をあげて前半を終

わった。前半の見どころは、残り10分間で5点を取った西軍の果敢な攻撃であった。東軍の追い込みに興味を繋いだ後半は、守りの布陣でスタートした西軍の作戦が当り、10分までに5点差と引き離され期待はずれの結果であった。その後はやや焦りの見えた東軍に対し、西軍ベ

得点	0	0	2	2	1	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【西軍】	井倉村	永出	積川	野田	原藤	上塚	馬田	福六	中福	中穂	津牧	夏大	佐井	井大	中成						
【東軍】	京大	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産	大産
【西軍】	吉柴	柳谷	長村	山脇	菊井	井喜	八加	高橋													
【東軍】	中法	法中	早中	早法	法日	日屋	北屋	海道													
【西軍】	榎平	佐山	山田	太奥	高竹	寺中	鈴橋														
【東軍】	前松	畑西	坂岩	松木	藤橋	赤高	寺小	篠													

得点	0	0	4	0	3	0	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【西軍】	榎平	佐山	山田	太奥	高竹	寺中	鈴橋													
【東軍】	島井	中田	本本	本元	山日	東東	東東	日女												
【西軍】	榎平	佐山	山田	太奥	高竹	寺中	鈴橋													
【東軍】	島井	中田	本本	本元	山日	東東	東東	日女												

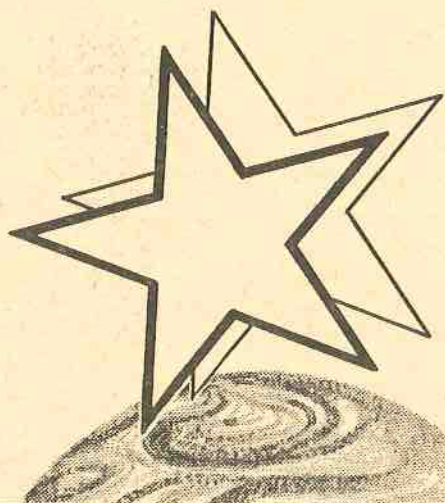
前半の見どころは、残り10分間で5点を取った西軍の果敢な攻撃であった。東軍の追い込みに興味を繋いだ後半は、守りの布陣でスタートした西軍の作戦が当り、10分までに5点差と引き離され期待はずれの結果であった。その後はやや焦りの見えた東軍に対し、西軍ベ

学生の東西対抗、見に行きました。機関誌前号では13時30分からとあった開始時間、当日の新聞は14時。以前にも同じケースがあり新聞のほうが正しかったのですが、今回は機関誌が正確だったようで、私の行った時はもう開会式と、選手紹介(女)がすんだあとでした。時間の発表に気がつかって欲しいものです。プログラムの配布もいささかファン無視。招

待ち入口だけに置かれ、一般人には、無料配布なのか、販売中なのか判らぬまま、せっかくなの場内放送も、ブツで、まちがえて、笑って、あまり感じがよくなかった。一般ファンが増えつつあるハンドボール、もう少し入場券を買って楽しみに出かける人の立ち場に心くばりが必要ではありませんか? (筆者は愛知県安城市在住)



# 明日を創る



特殊鋼づくりをはじめ、工業炉から  
省力・公害防止装置まで、鉄鋼・非鉄  
各種生産ラインのシステムをつくる  
企業、それが大同製鋼です。

**同 大同製鋼**

取締役社長 石井健一郎

本社 名古屋市中区錦一丁目11-18(興銀ビル)  
支社・支店 東京・大阪・福岡・札幌・広島  
営業所



一流選手の目じるし 栄光の《オニツカライン》®



栄光の予感は《タイガー》®を履いたときから。

**Onitsuka**  
**Tiger**

世界選手権大会でも大活躍した精鋭マシン

**タイガー®ハンドボール革**

カンガルー皮に白パール加工の最高級甲皮使用。/ 22.5~27.5 ¥6,300

競技専用シューズの総合メーカー **オニツカ株式会社** 神戸・大阪・東京・福岡・名古屋・札幌



# 世界女子選手12名編成へ

## 男子アジア予選も同人数

日本協会は、今冬12月ユーゴで開かれる第5回世界女子選手権の代表選手団の編成について検討を進めていたが、このほど荒川理事

長と井・全日本女子監督が話し合った結果、団長、監督、コーチ各1、選手12（GK2、FP10）とすることにまとまった。

これは、月例常務理事会（8月）の申し合わせり本誌既報にもとづいた数字である。

日本協会の財政事情、日本体協からの遠征補助の減額（注・今回は役員、選手合わせて10人分、往復航空費の三分の二、約三百万円）により、これ以上の規模の選手団派遣は難しく、増員すれば個人負担（注・現在は10と15万円を限度にしている）を増額するか、一般会計内の選手強化費を削らなければならぬ。

井監督は、遠征中の健康管理などから、2チーム分14名への派遣を強く要望していたが、結局、日本協会側の意向をうけられた。

荒川、井両氏の話しあいには全日本男子・北川監督も同席、選手12名案に合意しており、来春2月の第8回世界男子選手権アジア予選（本誌23頁参照）の代表も女子と同じ線にまとまることと確定した。

となった。

### 代表、国体で発表か

世界女子選手権への派遣人数が決定したことから、日本協会と井監督ら全日本女子コーチングスタッフは、代表選手選考の結めに入り、9月末までに選手名簿の草案を準備、順調に人選が進めば田村会長、荒川理事長及び9月29日に予定される月例常務理事会で承認をうけたあと、千葉国体（10月14

日～18日、佐原市）期間中に発表となる。

なお、世界選手権代表団は12月8日からの本大会（ユーゴ各地）の前オランダ、フランス、ユーゴでトライアルゲームを行なう予定にしており、11月20日頃日本を発つことになる。

### 日本、ルーマニア・ノルウェーと対戦 世界女子

渡辺和美IHF理事（日本協会副会長）からの連絡によるとIHFはこのほど第5回世界女子選手権の日程を次のように決定した。▽予選リーグB組（12月8～10日

ザビドビッチ）8日日本×ルーマニア、9日日本×ノルウェー、10日ノルウェー×ルーマニア

▽準決勝リーグ（11日～13日、ネゴティン）

▽決勝、順位決定ラウンド（14、15日ベオグラード）

### 確定的な女子五輪

日本協会は来日したユーゴのガシウォーダ（団長）、スノイ（監督）、ラインハウゼンのグラーパーン（監督）の3氏から「ヨーロッパ各国は、モントリオールオリンピックは、男子12ヶ国、女子6ヶ国で行うことが確定的なものと看做している」との談話を得た。

### 広報、普及活動の積極化を

ユーゴ戦東京大会（9月1、2日）を見たのを機に、日ごろ思うことを……

▽全国紙の後援をうけ、さらに対全日本2戦をNHK、民放（TBS）が放映した。マスコミ進出は多いに結構。各全日本選手権も録音でよいかからテレビに働きかけ見せて欲しい。

▽三景戦を盛りあげたのは立正高校プラスチックの鮮やかな演奏だった。国内のビッグカードの時もこうした。演出を是非。

▽対外（市内）PRに一考を。

### 投書欄 明日への提言

▽だいたい男くさいスポーツではあるが、良いユニフォームにお目にかからない。派手なものは厭味だが、機関誌などでアドバイスしづらいか。小生は早大や大同製のものが気に入っている。

▽普及のための提言。一、好試合

今回は国電駅前の大看板が効果をあげた。駒沢における場合、正面入口より、サイクリングコース側などのほうが人目につき易い。また、好カード、全国大会の試合案内をマスコミへ積極的に流して欲しい。

### 韓国へ実業団ジュニア

第3回日韓男子社会人交流は、10月26日から11月4又は5日までソウル、光州などで6試合が行われる予定だが、全日本実連は、このほど、その参加チームとして、「全日本実業団ジュニア選抜」を派遣することになり、9月なかばの候補合宿（東京）後、13名の代表選手を次のよう決め、発表した。いずれも22才以下の若手。

なお、役員は団長・山田稔（全日本実連副理事長）、監督・竹野奉昭（同理事、ミュンヘン五輪コーチ）、コーチ・富永勲（同常務理事）、総務・横地宇吉、岡部正文（ともに全日本実連副理事長）の5氏。

### 【全日本実業団ジュニア選抜】

GK	175cm	景研管
	175	(175)
	180	(180)
	180	(180)
	178	(178)
	176	(176)
	175	(175)
	175	(175)
	174	(174)
	172	(172)
	170	(170)
	170	(170)
	168	(168)
		技鋼
		隊下
		自製
		品製
		鋼所
		鹿屋
		鹿野
		製業
		業イ
		電
		田
		衛
		新
		田
		戸
		衛
		永
		レ
		崎
		三
		本
		日
		自
		七
		日
		武
		大
		神
		戸
		湧
		三
		大
		健
		二
		孝
		人
		稔
		夫
		憲
		進
		実
		修
		則
		郎
		道
		二
		健
		伸
		雅
		義
		秋
		次
		広
		健
		流
		佑
		水
		石
		川
		見
		野
		施
		田
		井
		川
		本
		水
		口
		西
		市
		辺
		平
		布
		吉
		酒
		柳
		若
		中
		田
		岩
		坂

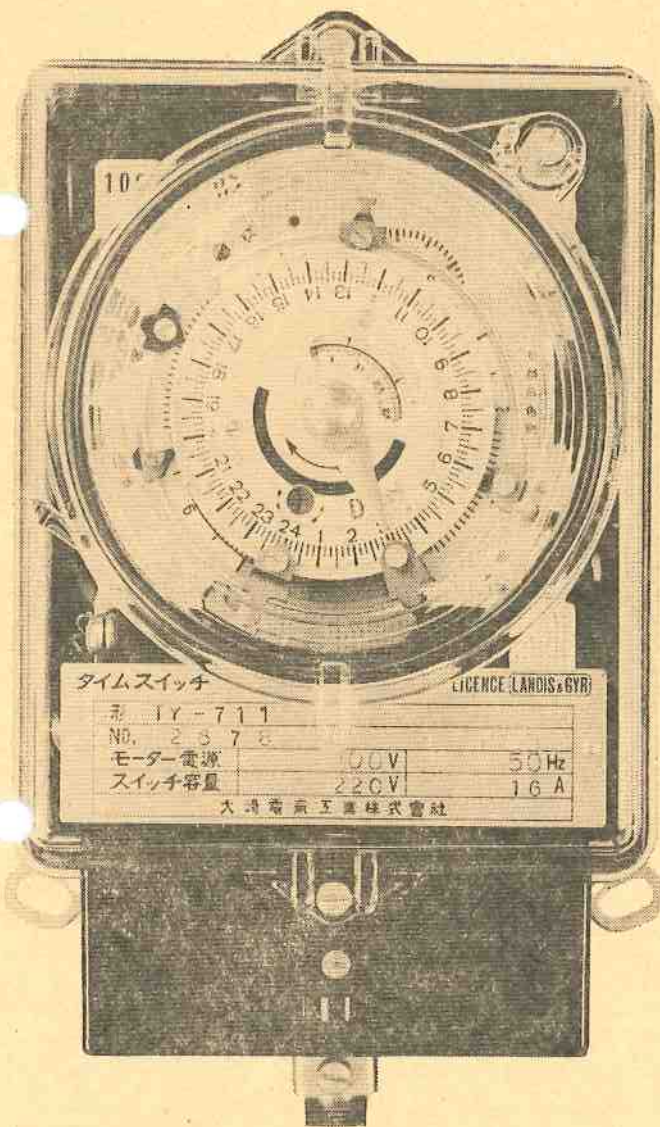


Osaki

# タイムスイッチ

TYシリーズ

24時間では足りないあなたに 1日=72時間



大崎タイムスイッチならそれが可能です。  
 毎日、毎週、毎月、定時刻に自動的にスイッチを〈入・切〉するあらゆる設備機器や年間の日没・日出時刻に応じ、自動的に照明を〈入・切〉する場合に最適です。



**大崎電気工業株式会社**

〒141 品川区東五反田2丁目2番7号 TEL.03 (443) 7171番



# 日本、イスラエルと2戦 (アジア地域)

～2月16・18日テルアビブで～

## 世界男子選手権予選 カナダ欠場、五輪に影響？

IHF(国際ハンドボール連盟)は8月22日バーゼル(スイス)で来春2月28日から東ドイツで開く第8回男子世界選手権の大陸別予選(25ヶ国参加)の日程について別掲のように正式発表した。

それによると、日本は、既報のとおり、イスラエルとアジア代表権をかけて対戦(2試合)することになり、両国協会の合意によってホームアンドアウェイ(互いの国で1試合ずつ)をさき、テルアビブ(イスラエル)で、来春2月

16日に第1戦、同18日に第2戦を行なうことになった。

このほか、ヨーロッパ地域では本誌10号既報後、スイス、ブルガリアの追加申し込みが認められて15ヶ国となり、3ヶ国ずつ五つのグループに分かれる。アメリカ、アフリカ地域も、それぞれ4ヶ国がリーグ戦で争うが、アメリカ地域に出場が予定されていたカナダの名が消えているのは、モントリオール・オリンピック(昭51)の実施にどう影響するのか、一まつの不安を投げかけたといっただろう。予選の第1戦は、10月14日レイキヤビクにおけるアイスランドーイタリヤ1回戦。

なお、日本ーイスラエル戦の審判員はシルリジナス、シニア組(ルーマニア)、IHF代表人はエミール・ホルル(スイス)と決まっている。今回は韓国、台湾、クウェートなど他のアジア諸国はエントリーしていない。ユーゴラミ、ユンヘン・オリンピックの上位8ヶ国は予選を免除されている。

イスラエル 日本協会が得た非日程変更か 公式の情報によると、世界男子アジア予選の準備を進めているイスラエル協会は、その日程を第1戦2月14日、第2戦同17日に変更したいようである

た全日本を当初の予定どおり、9月9日京都での第2戦終了後、解散させた。

来春の第8回世界男子選手権アジア予選候補選手を兼ねる「昭和48年度ナショナル」は、10月中旬に日本協会代表(未定)と、北川勇喜監督によって選ばれる予定。人数については、日本協会・荒川理事長は「Aチーム12、Bチーム12の計24名とし、A B間の入替えをひんばんにし、Cともいうべきジュニアは今春3月以降のメンバーを修正したい」といっており、この線に落ちつくものと思われる。

また、コーチングスタッフにつ

いては、ユーゴ戦では選手決定から試合まで短期間のためトレーナー、マネジャーを含めて監督以下6人によって編成されたが、一部手直しが行なわれそうである。

### 萬代秀三郎氏

(元日本協会理事  
前北海道協合理事)

長)、9月2日東京で心不全のため急逝された。66才。同氏は、北海道ハンドボール界育ての親で、同地域のレベリングアップにも多大の功績を残され、特に昭和29年函館で開いた第9回国体ハンドボール競技や31年の日本ルーマニア函館大会の大成は、氏の手腕に負うところが大きかった。

### 第8回世界男子選手権 各大陸別予選日程

- ◆アジア地域 (参加2ヶ国)  
49年2月16日 ①日本ーイスラエル (テルアビブ)  
2月18日 ②日本ーイスラエル (テルアビブ)
- ◆ヨーロッパ地域 (参加15ヶ国)  
▽第1群 (3ヶ国)  
48年10月14日～11月4日 アイスランド、フランス、イタリアの2回総当り (ホーム・アンド・アウェイ)  
▽第2群 (3ヶ国)  
48年11月4日～12月19日 ポーランド、スイス、オランダの2回総当り (同)  
▽第3群 (3ヶ国)  
48年10月14日～12月15日 ノルウェー、ブルガリア、フィンランドの2回総当り (同)  
▽第4群 (3ヶ国)  
48年11月11日～12月15日 デンマーク、ルクセンブルグ、ベルギーの2回総当り (同)  
▽第5群 (3ヶ国)  
48年11月11日～12月16日 スペイン、オーストリア、ポルトガルの2回総当り (同)
- ◆アメリカ地域 (参加4ヶ国)  
48年11月4日～11日 アメリカ、アルゼンチン、メキシコ、ブラジルの2回総当り(ヴェノスアイレス)
- ◆アフリカ地域 (参加4ヶ国)  
48年12月6日～9日 チュニジア、エジプト、アルジェリア、ギニアのリーグ戦 (アルジェリア)

トヨタと共に躍進するセントラル

クラウン・コロナ・ピックアップ・ライトバン製作



## セントラル自動車株式会社

神奈川県相模原市大山町4番12号

TEL 相模原 (0427) 72-6111 (大代表)

加入電信 2872-205 サガミセントラルSGM



第28回国体(若潮国体)ハンドボール競技は、10月15日から19日までの5日間、千葉県佐原市で開かれる。今年も、3年ぶりで北海道がフルエントリー、5部門72チームが勢揃いして、トーナメントで優勝を争う。組み合わせをみながら有力チームを拾い出してみよう。

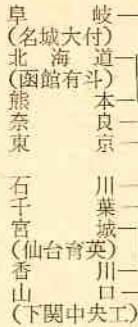
# 若潮国体近づく

なお、大会第2日(10月16日)の午後、天皇陛下がご来臨になる予定。  
(杉山 茂)

## 打倒・名城付めさず「選抜」

**高校男子** インター・ハイ優勝の名城大付を単独で送りこんだ愛知に対して熊本ら選抜チームが、どこまでその力を示すか興味深い。

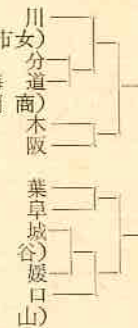
特に、順当なら準決勝で顔を合わず、奈良×東京の勝者との対戦は、事実上の決勝といえ、スケールの大きい試合が期待できる。Bブロックはダークホースが並んだ。山口、宮城両単独への呼び声が高いが、香川も上り坂。ベストフォアを日指す千葉にとつて、石川のまともまりはあなどれまい。



## 石川、山口めぐり激戦

**高校女子** 男子同よう、小松市女(石川)のインターハイにつづく、二冠(成るかが焦点。対抗は、夏の雪じよくを日指す徳山(山口)。インター・ハイ決勝では、タイムアップ寸前まで同点の熱戦、再び対決すれば予断は許すまい。

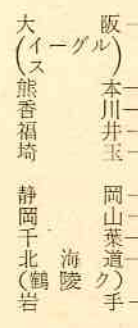
しかし、この両者もすんなり勝ちあがれるとは思えない。徳山は、まったく息を抜けないブロックに入ったし、小松も大分戦はもつれる可能性じゅうぶん。1回戦の浦谷(宮城)×愛媛は、愛媛の主力、新居浜商が、インターハイで抽せん負けのあとだけに、どうしても勝ちたいだろう。ダークホースは、激戦の東海を勝ちぬいた岐阜と栃木。いずれにせよ、波乱ぶくみの展開となりそうだ。



首位固そうな大阪 久々に近畿予選を無難に通った大阪(大阪イーグルス)が優勝最有力。早川、本田(GK)の両オリンピック代表を軸によほどのことがない限り、その首位は動くまい。決勝の相手は地元・千葉か。オリンピック代表の氷海をはじめ浅原、岩下、松若若さにあふれた布陣で、波にのれば、大阪も苦しませう。その反面、意外にもろさを露す時がある。巧者を揃えた岩手や、静岡はそのあたりを突く策戦だろう。

### 教員

久々に近畿予選を無難に通った大阪(大阪イーグルス)が優勝最有力。早川、本田(GK)の両オリンピック代表を軸によほどのことがない限り、その首位は動くまい。決勝の相手は地元・千葉か。オリンピック代表の氷海をはじめ浅原、岩下、松若若さにあふれた布陣で、波にのれば、大阪も苦しませう。その反面、意外にもろさを露す時がある。巧者を揃えた岩手や、静岡はそのあたりを突く策戦だろう。



は厚い。

熊本×香川は実力伯仲。

熊本、東京の争いか

立ちほだかる茨城と東海勢

一般女子 実業団とクラブの力

量差が、今年もはっきりしすぎている。勝敗的な興味は準々決勝以降の実業団同士のみ合わせからということになる。

一応、優勝争いは熊本(大洋デパート)×東京(東京重機)とみ

たい。今シーズンに入ってから

大洋の2勝(NHK杯、全日本実業団)、しかも13-5、13-7と

意外の大差だ。重機としては1勝

を返したいところだが、エース牧

野の負傷が長びきベストコンディ

ションを望めぬとハンデになる。

両者の前に立ちほだかるのは茨

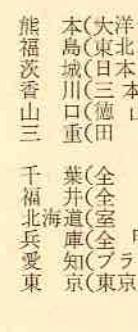
城(日本ビクター)、三重(田村

紡)、愛知(ブラザー工業)。

いずれも、熊本、東京にヒケを

とらぬ攻守を誇り、優勝をとげて

もおかしくない顔ぶれだ。



日本ハンドボール協会公認球

# 一番広く使われて居る!

# セッター

サービス部  
新宿区新宿2丁目電停前  
TEL (34)2979・1016

## 望月運動用品KK

東京都墨田区横川橋4丁目6  
TEL 本所 (622) 0746



扇屋主力の千葉も力をつけてきており、あわよくば決勝進出を、と張り切っている。クラブ勢では、兵庫(全甲子園)がいちばん強そう。のんびりかかると愛知も、足元をすくわれかねない。

(注)日本協会は、昨年、国体・一般女子の組み合わせ(1・2回戦段階)を、単一企業チーム(実業団)と一般に分けて抽せんした。この方法に対して賛否両論があり、しかも、今年は、全千葉の編成を一般として認めたいとの判断から、今シーズンの実績を基に熊本、東京をシード、その他の10チームは「同格」として処理された。

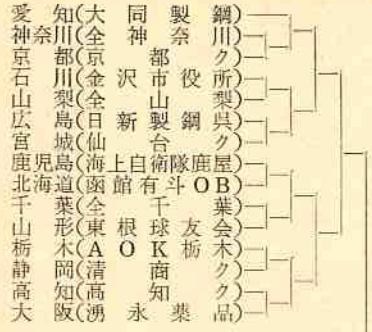
自信たっぷり愛知

追う大阪、埼玉、三重ら  
一般男子 シードされたのは愛知(大同製鋼)、三重(本田技研鈴鹿)、大阪(湧永薬)

品、埼玉(大崎電気)。波乱なく進めば、この4強が準決勝を争い、自信たっぷり愛知が、去年大阪にゆづった王座を2年ぶりで取り返すことになるのではなかるうか。

愛知は、中井が本調子ではないが、藤中、花輪、松原のトリオは抜群、せりあいに野田、加藤が光ったプレーを見せ、スキがない。GK柳川見も固い。他の三者は実力伯仲、全日本実業団(7月・熊本)で力強いところを見せた三重に注目が集まるが、埼玉も盛り返してきており、この対戦は白熱しそうだ。大阪は一本勝負に強く、愛知を降すとすれば、ここだろう。

トップクラスを追うのは広島(日新製鋼)、和歌山(丸善石油下津)、愛媛(住友化学菊本)、東京(三景)の実業団、鹿児島(海上白衛隊第一航空群)、茨城(白



衛隊勝田)の白衛隊勢、神奈川(全神奈川)、千葉(全千葉)、富山(水見ク)、青森(青森ク)、兵庫(スワローク)らのクラブ群。栃木(AOK栃木)、静岡(清商ク)、奈良(奈良ク)、山口(徳山ク)の有力クラブは1回戦ではげしく星をつぶしあう。

これらの中で、波乱をおこすとすれば三重を追う兵庫、東京、愛媛。なかでも東京は、実業団ベストフォアの位置を奪われた直後だけに燃えそうだ。地元への普及に成果をあげる長崎(全佐世保)、熊本(本渡ク)らの登場は明かい話題。

有力な愛知、千葉、大阪

5部門に代表を送るのは北海道と千葉だけ。しかし、この両者よりも、男子で2部門優勝を狙える愛知が、一般女子で得点を積み重ねるとトップに躍りでてこよう。つづいて大阪。このほか、三重、熊本、東京、山口、埼玉、石川にもチャンスはある。地元千葉は、各部門とも手固く準々決勝へ進むことが必要、カギは高校男女というこに

なりそう。女子はかつてない混戦模様。去年、天皇杯(総合)、皇后杯(女子)を飾った鹿児島も、今年は辛くも一般男子に代表を送っただけ、教員の予選敗退が大誤算。

国体地域予選 代表決定記録 (太字は代表)

- ◇北海道
  - ▽一般男子 函館有斗OB 19-12 室蘭ク
  - ▽同女子 室蘭ク 9-3 商門ク
- ▽同男子 函館有斗 14-6 函館東
- ▽同女子 室蘭商 10-1 室蘭東
- ▽同教員 鶴陵ク 10-9 南・道教員
- ◇東北
  - ▽一般男子第1・第2代表決定戦 青森 32-16 (秋) 田
  - 宮城 20-19 (秋) 山形(東)
  - ▽同第3・第4代表決定リーグ 岩手(盛) 16-12 秋 田
  - 岡南友会) 山形 20-13 山 形
  - 岩手 12-10 秋 田
  - 山形 12-10 秋 田
  - ▽順位③岩手④山形⑤秋田(注) 福島は失格
  - ▽同女子 福島(東北) 11-2 (全岩手) ムネカタ)
  - ▽高校男子 宮城 16-9 (秋) 田
  - ▽同女子 宮城 7-4 (秋) 田
  - ▽浦谷 7-4 (秋) 田

昭和48年度  
ハンドボール競技規則  
1部 500円

機関誌「ハンドボール」を  
個人購読なさいませんか  
年間11回発行・1800円

★お申し込みは東京都渋谷区神南1の1の1日本ハンドボール協会へ★



- ▽教員 岩手 19-16 福島
- ◇関東
  - ▽一般男子第1、第3代表決定戦
    - 東京 18-11 (全神奈川)
    - (二見)
    - 栃木(A) 22-17 (茨城(白)
    - OK栃木) 衛隊勝田)
    - 埼玉 34-10 (光電工業)
    - (大崎電気)
  - ▽同第4、第5代表決定戦
    - 山梨 20-13 群馬
    - (全山梨)
    - 神奈川 18-11 茨城
  - ▽同第6代表決定戦
    - 茨城 26-14 群馬
  - ▽同女子第1、第2代表決定戦
    - 東京 14-11 (大崎電気)
    - (東京電機)
    - 茨城(日本) 29-0 (群馬(前橋)
    - ビクター)
  - ▽高校男子
    - 東京 18-17 (群馬)
    - (選抜)
    - 栃木 7-5 (茨城)
    - (選抜)
  - ▽教員 埼玉 11-10 茨城
- ◇北信越
  - ▽一般男子第1、第2代表決定戦
    - 富山 23-20 (北陸電力)
    - (氷見)
    - 石川 16-14 (長野)
    - (金沢市役所)
  - ▽同第3代表決定リーグ
    - 長野 21-11 (新潟)
    - (柏崎)
- ▽同女子
  - 長野 11-9 福島
  - ▽同女子
    - 福島 7-4 (山梨)
    - (全福井)
  - ▽高校男子
    - 石川 13-8 (長野)
    - (選抜)
  - ▽同女子
    - 石川 9-3 (福井)
    - (小松市)
- ▽教員 福井 26-15 長野
- ◇東海
  - ▽一般男子第1、第2代表決定戦
    - 愛知 23-12 (岐阜)
    - (大同製鋼)
    - 三重 17-8 (静岡)
    - (本田技研)
  - ▽同第3代表決定戦
    - 静岡 10-8 岐阜
  - ▽同女子第1、第2代表決定リーグ
    - 順位①三重(田村紡) ②愛知(プ)
    - ラザ工業) ③静岡(城北ク) ④
    - 岐阜(岐阜ク) ⑤試合記録は本誌31
    - 頁東海選手権女子の項参照。
  - ▽高校男子
    - 愛知 16-12 (岐阜)
    - (名大付)
  - ▽同女子
    - 岐阜 4-2 (愛知)
    - (選抜)
- ▽教員 静岡 14-9 愛知
- ◇近畿
  - ▽一般男子第1、第3代表決定戦
    - 和歌山 20-11 (京都)
    - (丸善石油)
- ▽同女子
  - 兵庫 31-28 (奈良)
  - (スワローク)
  - 大阪 40-11 (滋賀)
  - (湧永薬品)
- ▽同第4、第5代表決定リーグ
  - 奈良 18-17 京都
  - 奈良 22-10 滋賀
  - 京都 22-14 滋賀
  - 【順位】④奈良⑤京都⑥滋賀
- ▽同女子
  - 兵庫 12-7 (大阪)
  - (苦子園)
- ▽高校男子
  - 奈良 14-7 (大阪)
  - (選抜)
- ▽同女子
  - 大阪 7-3 (兵庫)
  - (選抜)
- ▽教員 大阪 20-10 和歌山
- (イグルス)
- ◇中国
  - ▽一般男子第1、第2代表決定戦
    - 広島 37-13 (岡山)
    - (日新製鋼)
    - 山口 24-10 (岡山)
    - (徳山ク)
  - ▽同女子
    - 山口 14-5 (広島)
    - (徳山OG)
  - ▽高校男子
    - 山口 23-11 (岡山)
    - (関中夫)
  - ▽同女子
    - 山口 6-5 (広島)
    - (徳山)
- ▽教員 岡山 14-10 山口
- ◇四国
  - ▽一般男子代表決定リーグ
    - 愛媛 26-7 (高知)
    - (住化菊本)
- ▽同女子
  - 愛媛 30-7 (香川)
  - (瀬戸ク)
  - 高知 19-11 香川
  - 【順位】①愛媛②高知③香川
  - みエントリーのため認定
- ▽高校男子代表決定リーグ
  - 香川 12-10 (愛媛)
  - (選抜)
- ▽同女子
  - 香川 12-9 (高知)
  - 愛媛 23-8 (高知)
  - 【順位】①香川②愛媛③高知
- ▽同女子代表決定リーグ
  - 愛媛 8-6 (香川)
  - (選抜)
- ▽教員 香川 22-5 (高知)
- 香川 18-1 高知
- 【順位】①愛媛②香川③高知
- ▽教員 香川 28-19 愛媛
- ◇九州
  - ▽一般男子第1、第2代表決定戦
    - 鹿児島 29-23 (長崎)
    - (海白第一航空群)
    - 熊本 15-13 (大分)
    - (本渡ク)
  - ▽同第3代表決定戦
    - 長崎 30-20 大分
  - ▽同女子
    - 熊本 26-3 (沖縄)
    - (大洋デパート)
  - ▽高校男子
    - 熊本 20-12 (福岡)
    - (選抜)
  - ▽同女子
    - 大分 6-4 (熊本)
    - (選抜)
  - ▽教員 熊本 28-14 福岡

Molten (確かさの誕生)

ハンドボール

日本ハンドボール協会検定球

モルテンゴム工業株式会社



# 全国私立中高校 保健体育科研修会指導

報告 山田 哲雄

「人間性を基礎とした新しい保健体育のありかた」を今年度の目標として、8月27日から3日間、東京・国立競技場、十文字学園で行われた第11回全国私立中学・高校保健体育科研修会は、例年どおり講演と実技研修に分かれ、実技研修の球技はハンドボール、サッカー、バスケ、バレーボールの種目が実施された。

ハンドボールは、日本協会普及指導部中央委員・高田日呂美、山田哲雄の2名が出向、「改正ルール(解説)と基本技能の初心者指導法」のテーマにより進められた。

ハンドボールが中学、高校の指導要領に採り入れられるようになり、現場での正課体育授業に1校でも、1時間でも多く、また、より正しく、高度に実施されることが重要かつ急務であると考え、今回は、講習時間正味2時間、むしろあついで体育館(コート面)に全国82校99名の先生方が詰めかけての研修とあって、内容の選択に苦しみ、超スピードでの授業にならざるをえなかった。しかし、各校に帰られたあと、大いにハンドボールを実施していただきたいと力説した我々の考えは理解を得たと思ふ。

このような現役の体育教師を対象にしたハンドボールの指導者講習会を、せめて2、3日の日程で行なえれば、中味の濃い内容に終始できるのだが、と残念に思えた。今回から、参加者に、財団法人私学研修福祉会から交通費の半額と日当など千八百円(日額)の半額が支給されるようになったが、これを基準にした予算編成でもよい。日本協会普及施策に指導者講習会のプランをぜひ組みこみたいものである。

なお、研修会の3日後、参加者の中から希望者による日本Xユーロ戦(9月1日、東京体育館)視戦を行なった。

○……研修実施内容……○

▽ハンドボール概説(5分間)▽準備運動とボール利用のモチベーションエクササイズ(同)▽キッキングの基本(10分間)▽スタンディングパス各種の説明と短い練習(5分間)▽GK防禦法の実際と危険防止についての実技説明(10分間)▽パスカット、シュートカット(同)▽シュート練習(15分間)▽ドリブルの効果とフェイント三種(10分間)▽クロス、リターンパスを利用して瞬間的に2対1をつくる(同)▽コート4分の1面を使用して3対2の練習(同)▽改正点を中心にルール解説(同)▽試合形式でルール、審判法、試合要領の学習(20分間)。

## 厚く、深い底刻み、 フット・ワーク優先の 合理シューズ



- 力のロス、横スベリを解消した合理設計で定評高い斜線模様の特種モールド底。(特許出願中)
- 厚く、彫りの深い底、中底はユニークな弾性を誇る二重スポンジ・クッション。
- 表布と裏布を離れた袋状アッパーで、快適な足扱い、軽快な履き心地。
- ブルー、金茶のカラー・フルなデザイン。
- 要部に革補強。



**ハンドベアー**

デラックス〈HX〉●サイズ=22.5~29●ブルー・金茶●¥1,900

スタンダード〈HA〉●サイズ22.5~29●アイボリー●¥1,700

●全国有名スポーツ品店、百貨店でのお求め下さい。

神戸 **ベアー株式会社** 東京

好評発売中!!

日本ハンドボール協会編 「ハンドボールテキスト」 ¥300.

お申し込みは日本ハンドボール協会普及部まで



# 第2回 全国中学生 大会に参加して

～参加選手寄稿特集～

第2回全国中学生大会は、本誌前号既報のとおり、8月16日から18日までの3日間、名古屋近郊・愛知県青少年公園緑地球技場に全国から男女各10チームが参加して行なわれ、男子は笹島(愛知・名古屋)、女子は福泉南(大阪・堺)が優勝して幕を閉じた。

参加した選手たちは、母校や、郷里に戻りこの大会をどのように振り返っているだろうか。

本誌では、日本協会普及指導部の協力を得て選手からの辛直な感想を特集してみた。(到着順)

## 麻生一中 (茨城) 横山武美

全国中学ハンドボール大会、これに出場し、できることなら優勝を狙う、これが僕の夢であり、目標でもあった。

しかし、その夢も、ついに果たすことはできなかった。でも全国大会に出場できた。

このことは、一生の思い出として残ると思う。チームのみんも茨城県では、自分達だけが県外の遠征試合を経験でき、県外のチームと試合ができた。それだけで満足だと自分は思う。今まで負けるというのをしらない、そんなチームばかりが集まった全国大会。優勝した笹島中学以外の何百というチームは、僕達と同じように敗

れる屈辱を味わったと思う。

しかし、まだ自分達には、高校大学と上がある。そのときそ自分の力をもてる力を全部だしきり、自分の夢を実現したいと思う。これからハンドボールができないとしても、自分は、他のどのスポーツよりも、もっともすぐれたスポーツ、ハンドボールをしり、それを経験できた、そんな自分は、しあわせだと思ふ。

## 大野中(長崎) 山田幹子

やはり全国大会の決勝戦ともなると、私達の試合とはちがうと、つくづく思いました。

でも、とても勉強になりました。それを下級生によくつたえ、また出場してもらい、りっぱな成績を

残してもらいたいと思っっています。それから設備のことで書きま

これは全国大会に出場した人はどなたでも気づいたことだと思いますが、まず、コートがものすごくつかいにくかったことです。

しばふと聞いていましたが、サッカーで荒れて、土がみえてるところが何か所もありドリブルがしにくく、走りにくく、すべりやすかった。それに、宿泊棟から会場にいくなでに時間がかかった。

次は宿泊棟のことです。まず部屋は人数に対してせまかったと思

います。食事をとるのも時間がかり、食堂もせまく感じました。風呂も同じことです。私達はきめられた生活をするために、きたのじゃないのだから、宿泊は、自由にしてもらいたかった。あそこにいると、きりうくつでたまらなかつた。これが、私達大野ハンドボール部のみんなの意見です。最後に、名古屋は、私達にとって少し遠かったです。

## 笹島中 (名古屋) 大積慎一

この大会に出場するということが、僕らの大きな目標だった。だが、出たからには勝たなければ、参加することに意義があるなどよく言われる。しかし、僕は

このことばかりがあまり好きではない。なぜなら、僕はこのことばが勝つ自信のない者のことばか、それとも、負けた者の負け惜しみに聞こえるからだ。確かに、参加することに意義はある。が、勝つために参加し、全力を尽くすことの方が意義があると思うのだが……

僕がハンドボールクラブにはいったわけ、それは別にハンドボールが好きだったからではない。とにかくそのころは、ハンドボールなど名前すら時々聞くだけで、競技の仕方などは全く知らなかったのだから。はいったわけというのは、学校にあまりめぼしいクラブがなかったことと、僕らの学校のハンドボールクラブは、かなりの線までいっていたということからだ。

一年生の時から四・五人やめていった。練習は猛練習などということは絶対ない。むしろ他の学校に比べると少々練習が足りないような気もした。といっても、練習だけがやめる原因ではないようだ。ハンドボールは、僕らの学校では中心となっているが、人気の点ではまだまだ。このこともかなり災いしているのではないかな。

練習はきびしくなかったが、ここまでこれたのは、指導してくれた先生の力が大きいと思う。大会が終わってふりかえってみると、僕ら全員、先生にいろいろお世話

日本ハンドボール協会公認



ゴールドスター  
ハンドボール  
シューズ



岡山釣鐘工業株式会社 東京



になった。まったく先生もえらいものだと思う。

僕らの中で、高校でもハンドボールをやると言っている者は半分ぐらいしかない。僕もどうするかまよっている。だが、ハンドボールに人気が集まるためには、やはり強くなければいけないのではないか。オリンピックなどの大きな大会で上位進出すればかなり人気は高まると思う。僕はまだまだこれからだ。がんばってゆきたい。

### 戸町中(長崎) 将 宮本英治

▽よかった点

- 一、環境がよくて、のびのびとプレーができた。
- 二、大会の設備、運営がよく整っていた。
- 三、生活規則が徹底していて、コンディション作りや精神の修養に役だった。

- ▽来年度大会へのアドバイス
- 一、審判員のジャッジの徹底。
  - 二、練習時間をふやしてほしい。
  - 三、技術指導だけでなく実際に模擬試合をみせてほしい。

### 岩国中(山口) 将 奥本和子

全国大会初出場の私達は、全国のハンドボールレベルがどの程度のものであるかまるっきり見当も

つきませんでした。

中国大会の時は、割合に楽に優勝できましたし、県内にもハンドボールをやっている学校が少ないので、全国広しといえども余り変わりないのではないかと、くらくらに考えていた次第です。

ところが全国大会に出場してみてはびっくりわかりました。上には上がいるって。

優勝した福泉南などの試合を見ていると彼女達の技術の高度なのに感心してしまいました。さほど背が高いわけでもなければ幅があるわけでもないのに、小まわりをきかせてたくみに攻め込んでいくんです。

何点か先取されたが、すごく落ち着いていたし、全く彼女達には感心させられようでした。

私達は、また初歩からやり直さなければという気持ちで一ぱいになりました。

宿泊棟での規律ある生活は、きびしいながらも楽しい思い出となりました。窓から眺める景色がとてもきれいでした。

ただ一つ、私達にとってやりにくかったことは、コートが一面しかぶだったということです。今まではふのふのコートで練習したことがないので本当に閉口してしまいました。ドリブルはやりにくいし走りにくいし、いつもの三分の二の力も出なかったでしょう。私達

のチームは比較的ドリブルが多いのでそれができなかったことが負けた一つの大きい原因とと思っています。

全国各地からいろんな人々が一つの目的を持って集まり、一諸に宿泊し、一諸に食事をする、こんな機会に巡り会えたことをとても誇りに思っています。いろんな地方のいろんな人々、そしていろんなことば……とても楽しいですね。

また一歩から出直します。後輩に希望をたくして、今度こそベストフオアに残れるぐらいに頑張ったいです。全国大会に出場したことは私にとってすばらしい思い出として、いつまでも心に残ることでしよう。

### 小松南部 中(山口) 永野寿子

毎日の練習のためか、今年は全国大会に出場することができた。

出場するからには、せいっぱいがんばってこようと思つて、名古屋へ出かけた。

愛知県青少年公園は、広く美しく、私たちをびっくりさせた。それにしても競技場のサッカー場は、ハンドボールにはちょっとむいていないように思われた。芝布のため、ドリブルはあまりボールがはずまないし、すべって、ほんとうの力を出せないと思う。

宿舎は規則がきびしいので、まごつくこともあったが、楽しく過ごすことができた。

試合は一回戦は勝ったが、二回戦で負けてしまったので残念だった。これでもうハンドボールをするかもしれないと思うと悲しかった。全国大会出場までの練習、そして名古屋での試合、どれをとってみても、私達のよい思い出としてのこっている。

無記名

全国の中学ハンドボールってどのくらい強いのだろう、僕たち恥ずかしいか、名古屋はどんな都会かな。

いろんな期待といろんな不安でいっぱいでした。

やってみると、みんなやっぱりすごい。プレーは、僕らが知っているものばかりだったのだから、きっと練習時間がちがうのだと反省した。

ハンドボールってどんなスポーツだ、という人が多い。

でも、全国でこんなにたくさんしかも強い仲間がいたので安心した。ハンドボールをやっていることが、「変わっている」と思われたりしてないか、という心配が、やはり間違っていたことを知った。これからは大いばりだ。

嬉しい原稿でした。氏名(大至) 急知らせて下さい。編集部

## 純競技仕様

＝すぐれた機能は美しい＝

デサント製品はすべて本格派の名にはじない<純競技仕様>……その孤高の世界へ肉迫した成果をご着用下さい。

《本格派》

**デサント**  
スポーツ服装

- ハンドボール ●ベースボール
- ゴルフ ●スイミング ●スキー

**THE BEST**  
for typical sportsmen

original by  
**DESCENTE**

スポーツ服装専門メーカー  
株式会社 デサント



# 男女とも奈良勢勝つ

## 近畿中学福泉南(大阪)敗れる

### 中学大会記録

ブロックの中学大会として、最も長い歴史をもつ第22回近畿中学校総合体育大会(ハンドボール競技)は、8月24、25日の両日奈良市立中央体育館などに近畿6県から男女各12校が参加して予選リーグのあと決勝トーナメントで優勝争いが行なわれた。

男子は、奈良—大阪勢の激突から都南、生駒が勝ちあがって奈良同士で決勝、都南が前半のリードを守り切った。

女子は、決勝トーナメント1回戦で、全国中学生大会(8月・名古屋)に2連勝の福泉南(大阪)が刈藻(兵庫)のほげしい追いこみにあって敗れる波乱があった。決勝は生駒(奈良)—刈藻の対戦から生駒が押し勝った。

鳥屋城 8—5 守山

▽同D組 下鴨(和) 12—9 浜の宮(兵)

生駒(奈) 15—9 浜の宮

生駒 13—7 下鴨

▽同決勝トーナメント1回戦

都南 10(4—4) 8 福泉

生駒 9(8—5) 7 大淀

▽同決勝 都南 9(5—2) 7 生駒

▽女子予選リーグA組

刈藻(兵) 15—7 斑鳩(奈)

岩出(和) 11—3 斑鳩

刈藻 10—5 岩出

▽同B組 福泉南(大) 20—3 秦荘(滋)

皆山(京) 11—10 秦荘

福泉南 18—2 皆山

▽同C組 生駒(奈) 13—6 神出(兵)

神出(兵) 10—5 多賀(滋)

生駒 8—2 多賀

▽同D組 高雄(京) 9—3 鳥屋城(和)

住吉(大) 8—6 鳥屋城

住吉 7—4 高雄

▽同決勝トーナメント1回戦

刈藻 6(2—5) 5 福泉南

生駒 11(5—1) 3 住吉

▽同決勝 生駒 6(4—1) 4 刈藻

▽大阪 48年度夏季大会(8月・大阪市中央体育館ほか)。参加11男36、女29

▽男子準々決勝

住吉 14—6 新北野

福泉 21—8 豊中二

大淀 11—8 豊中四

東陽 10—5 福泉南

▽同準々決勝

福泉 16—13 住吉

大淀 8—6 東陽

▽同3位決定戦

東陽 14—7 住吉

▽同決勝 福泉 11(延) 10 大淀

▽女子準々決勝

住吉 7—5 大淀

新北野 7—2 久米田

豊中二 16—1 貝塚一

福泉南 13—2 箕面二

▽同準決勝

住吉 8—1 新北野

福泉南 9—6 豊中二

▽同3位決定戦

豊中二 9—1 新北野

◇埼玉 県民体育大会中学の部(8月・浦和) 参加11男11、女6

▽男子準々決勝

八潮 33—2 深谷

蓮田 17—4 狭山東

白岡篠津 19—12 松伏

川口十二月田 17—11 東松山松山

▽同準決勝

八潮 22—4 蓮田

川口十二月田 8—7 白岡篠津

▽同決勝

八潮 10—8 川口十二月田

▽女子1回戦(2試合)

深谷 10—9 狭山東

松伏 15—2 所沢向陽

▽同準決勝

深谷 12—0 川口十二月田

松伏 18—4 川口芝

▽同決勝

松伏 10—3 深谷

◇愛知 第27回愛知県中学校総合体育大会(8月・一宮) 参加11男12、女12

▽男子決勝トーナメント1回戦

笹島 19—13 豊橋南部

桜田 17—10 上野

▽同決勝

笹島 16—12 桜田

▽女子決勝トーナメント1回戦

上野中は2連勝6度目の優勝

◇豊中市(大阪) 豊中市立中学校総合体育大会(8月・豊中市民体育館) 参加11男6、女5

▽男子準決勝

豊中二 16—6 豊中九

豊中四 21—5 豊中五

▽同3位決定戦

豊中九 17—6 豊中五

▽同決勝

豊中四 8—7 豊中二

▽女子準決勝

豊中二 9—4 豊中三

豊中五 16—6 豊中九

▽同3位決定戦

豊中三 29—7 豊中九

▽同決勝

豊中二 17—2 豊中五

◇名古屋 市大会(7月)、参加男20、女15

▽男子準決勝

桜田 19—9 明豊

笹島 15—6 東港

▽同3位決定戦

明豊 14—11 東港

▽同決勝

笹島 13—6 桜田

▽女子準決勝

笹島 16—2 猪高



# 田村紡、ブラザーに快勝

## 各地の記録

第25回東海選手権は8月25、26の両日静岡・清水市商グランドに東海4県の予選勝者が集まり開かれた。

男子トーナメントは、予想どおり、3年連続して大同製鋼(愛知)―本田技研(三重)の対決となり東海実業団(5月、名古屋)で大激戦を演じているだけに熱戦が期待されたが大同のスピード豊かな攻撃に本田は押しまくられ、大差がついた。

大同は2連勝、愛知代表の優勝は2年連続20度目。

女子はリーグ戦で行なわれ、田村紡(三重)が、昨年ブラザー工業(愛知)に奪われた覇権をとりもどした。田村紡の優勝は2年ぶり8度目、三重代表の優勝も同じ。

▽男子準決勝(111回戦)

大同製鋼 23(14―7) 二和家具(愛知) 9(9―5) 12 (岐阜)

本田技研 17(8―4) 8 清商ク(三重)

▽同3位決定戦

清商ク 10(5―4) 8 二和家具

▽同決勝

大同製鋼 21(101―3) 9 本田技研

▽女子リーグ

田村紡 10(5―2) 5 城北ク(三重)

ブラザー工業 18(12―0) 1 岐阜ク(愛知)

田村紡 25(12―3) 5 岐阜ク

ブラザー工業 12(6―1) 2 城北ク

城北ク 9(6―4) 6 岐阜ク

田村紡 13(7―5) 8 工業

【順位】①田村紡②ブラザー工業③静岡城北ク④岐阜ク

### 男女とも3連勝の強味

第3回北海道クラブ選手権は8月25、26の両日函館東球技場に男子4、女子2チームが参加して行なわれ、男子は函館有斗OB、女子は室蘭クが、それぞれ攻守に一日の長を示し3連勝をマークした。

▽男子準決勝(111回戦)

函館有斗 38(22―16) 11 函工OB

室蘭ク 34(21―13) 12 亀田市役所ク

▽同決勝

函館有斗 19(13―6) 12 室蘭ク

▽女子決勝

室蘭ク 9(5―2) 3 商門ク

### 仙台ク、14年ぶりの優勝

女子は東北ムネカタ勝つ

第26回東北選手権は8月31日、9月1日の両日仙台・宮城県スポーツセンターに東北6県の男女各代表が集まって行なわれた。

男子は第1ラウンドの勝者3チームによって決勝リーグが争われる予定だったが、盛岡商友会(岩手)を14―11で破って勝ち進んだSGク(福島)に、登録違反選手

がいたため没収試合。結局、仙台ク(宮城)―青森クの決勝から仙台クが逆転勝ち、青森クの連勝を断り、14年ぶりの優勝を遂げた。宮城代表の優勝は3年ぶり17度目のこと。

女子は4チームの出場から実業団の東北ムネカタ(福島)が快勝2年連続して栄冠を握った。福島代表の優勝は2年連続4度目。

▽男子第1ラウンド(決勝リーグ進出チーム決定戦)

青森ク 32―16 大曲HC(青森)

盛岡商友会(宮手) 没収試合(SGク)

ただし、盛岡商友会は決勝リーグには出場しない。

仙台ク 20―19 東根球友会(山形)

▽同決勝

仙台ク 15(6―7) 12 青森ク

▽女子準決勝(111回戦)

東北ムネカタ 9(3―5) 6 (秋田)

東北ムネカタ 17(9―5) 6 (宮城)

▽同決勝

東北ムネ 11(6―1) 2 全岩手

関東は雨 第20回関東選手権は8月24日から26日まで、山梨県塩山市で行なわれる予定だったが、雨にたたられ、併行していた国体関東予選を優先して実施することになり、流会となった。

全岩手 9(3―5) 6 (秋田)

東北ムネカタ 17(9―5) 6 (宮城)

▽同決勝

東北ムネ 11(6―1) 2 全岩手

関東は雨 第20回関東選手権は8月24日から26日まで、山梨県塩山市で行なわれる予定だったが、雨にたたられ、併行していた国体関東予選を優先して実施することになり、流会となった。

関東選手権が流れたのは、昭和29年復活後初めてであるばかりか戦前(昭12―昭18)、戦後の第一次復活(昭24、25)を通じても例がない。

トヨタ車体、順当の4連勝

▽第4回刈谷(愛知)リーグ(9月・愛知教大ほか)

▽男子5位決定戦

豊田工機 24―5 豊田自動織機

▽同決勝リーグ

トヨタ車体 42―5 アイシン精機

刈谷ク 18―12 日本電装

トヨタ車体 25―6 日本電装

刈谷ク 15―11 アイシン精機

日本電装 23―10 アイシン精機

トヨタ車体 25―7 刈谷ク

【順位】①トヨタ車体②刈谷ク③日本電装④アイシン精機

▽女子決勝リーグ

豊田工機 7―4 刈北OG

関東一元をネットする…ワイドサービスチェーン

医薬品全般  
高級化粧品



健康から未来をひらく

株式会社 日進商会

日進子会 本部 横浜



愛知教大 10-3 刈北OG  
 愛知教大 9-5 豊田工機  
 【順位】①愛知教大②2年ぶり2度  
 日の優勝③豊田工機④刈北高O  
 G

一般で川崎製鉄が進出

▼第28回岡山県体育大会ハンドボ  
 ール競技(8月・真備高)  
 ▼一般男子1回戦(1試合)  
 落合ク 棄権 天城OB  
 ▼同準決勝  
 倉商OB 14-12 落合ク  
 川崎製鉄 25-16 児島柏会  
 ▼同決勝  
 川崎製鉄 23(14-9)13 倉商OB

▼高校男子準々決勝  
 津山工 19-13 児島  
 金川 20-1 津山工専  
 倉敷工 18-8 倉敷商  
 天城 13-11 岡山工  
 ▼同準決勝  
 津山工 20-8 金川  
 倉敷工 18-7 天城

▼同決勝  
 津山工 18(10-8)11(5-6)倉敷工  
 ▼女子1回戦(2試合)  
 井原 16-4 操山  
 岡山女 18-9 金川  
 ▼同準決勝  
 真備 23-4 井原  
 津山商 11-5 岡山女  
 ▼同決勝  
 真備 12(8-4)5(2-7)津山商

▼第25回岩手県民体育大会ハンド  
 ボール競技(8月・岩手大)  
 ▼一般男子準決勝(11回戦)  
 岩手教員ク 22-10 岩手大  
 盛岡商友会 22-5 白亜ク  
 ▼同決勝  
 盛岡商友 19(10-8)15(7-7)15 岩手教員  
 会

▼高校男子準々決勝  
 花巻北 10-9 生活学園  
 盛岡四 13-9 花巻農  
 盛岡商 25-5 岩手  
 盛岡一 11-3 久慈(長内)  
 ▼同準決勝  
 花巻北 9-8 盛岡四  
 盛岡商 11-6 盛岡一  
 ▼同決勝  
 盛岡商 11(8-3)5(2-7)花巻北

▼同女子準々決勝  
 花巻南 12-2 黒沢尻南  
 花巻北 7-6 大原商  
 岩手女 4-2 盛岡二  
 花巻農 7-4 一関修紅  
 ▼同準決勝  
 花巻南 13-1 花巻農  
 岩手女 7-4 花巻北  
 ▼同決勝  
 岩手女 13(7-6)10(0-0)花巻南

高校女子は岩手女快勝

団体県予選②(報告のみ)

◇愛媛 ▼一般男子決勝リーグ  
 住化菊本 27-7 丸善石油松山  
 丸善石油松山 18-7 新居浜ク  
 住化菊本 棄権 新居浜ク  
 ▼高校男子準々決勝  
 松山北 20-6 今治南  
 宇和島南 13-10 新居浜東  
 松山工 8-6 新居浜工  
 松山東 16-8 新田  
 ▼同準決勝  
 松山北 33-9 宇和島南  
 松山工 18-10 松山東  
 ▼同決勝  
 松山北 17-11 松山工

▼同女子1回戦(3試合)  
 新居浜東 12-6 今治南  
 土居 12-4 今治明德  
 松山商 15-2 新居浜西  
 ▼同準決勝  
 新居浜商 24-0 新居浜東  
 松山商 10-5 土居  
 ▼同決勝  
 新居浜商 14-6 松山商

◇広島 ▼一般男子準決勝  
 日新製鋼呉 28-9 呉商ク  
 三菱レ大竹 不戦勝 修道ク  
 ▼同決勝  
 日新製鋼呉 16-9 三菱レ大竹

◇奈良 ▼高校男子準々決勝  
 生駒 18-5 育英  
 一乗 20-9 桜井商

▼同準決勝  
 添上 17-4 生駒  
 一乗 9-3 郡山  
 ▼同決勝  
 添上 14-10 一乗

◇宮城 ▼高校男子準決勝  
 古川工 13-12 仙台三  
 仙台育英 24-12 塩釜  
 ▼同決勝  
 仙台育英 22-9 古川工

▼同女子準決勝  
 宮二女 9-0 古川商  
 涌谷 12-2 古川女  
 ▼同決勝  
 涌谷 10-6 宮二女

【お詫び】 本誌112号18頁・全国  
 中学生大会女子準決勝第1試合の  
 スコアが間違っておりましたので  
 再録いたします。  
 福泉南 6(5-1)5(0-5)加納  
 (大阪)

★編集後記

○……川崎市の一フアンのか  
 たから、たまにはグラフ特集  
 (増刊)などを出したら、とい  
 う御意見をいただきました。  
 同種の御提案、ほかにもあ  
 り、目下研究中です。いつも  
 ながら、「スタッフと予算が  
 ……」と言いつけが消極的なこ  
 とをお許し下さい。  
 ○……ユージ、驚くほど強く  
 厳しく、ラインハウゼン、び  
 っくりするほどのんびりして  
 いました。スポーツに対する  
 考えかたの両極端、読者の皆  
 さんの声を期待しています。  
 日本ハンドボール界は、  
 実はその両方をそれぞれの立  
 ち場から強く求められている  
 のです。  
 ○……あたりまえの話なので  
 すが、本誌が毎号キチンと、  
 それもフレッシュなニュース  
 を満載させて発行されること  
 に、他の競技団体関係者や、  
 報道関係者が注目しはじめて  
 来ています。藤木前編集長  
 の残してくれたこの伝統、皆  
 さんの力で、受けついでいき  
 たいものです。  
 ○……7月で7切った編集委  
 員の公募、まだ続けています  
 投稿、寄稿、試合結果……  
 バリバリ送って下さい。(杉)



'72

(株)三景は企業の繁栄を通じて  
より豊かな生活、  
より明るい社会を創造する。

繊維専門商社 株式会社 三景



グループ本部 東京都千代田区岩本町3-2-10 〒101

(株)北越三景 (株)東京三景 (株)甲商三景 (株)大阪甲商三景  
(株)サンレディ (株)サンワード (株)サンライン

# スポーツの技術史

近代日本のスポーツ技術の歩み

新刊



菊判・656頁・上製函入  
定価2500円

東京教育大学教授 岸野雄三 編  
東京教育大学助教授 多和健雄

●近代スポーツの歩みを技術史的にとらえた日本における近代スポーツの歩みを、技術史的な視点からたどり、各スポーツ種目ごとの発展の概要をのべたユニークなスポーツ史である。各種スポーツの意味を技術史的に吟味し、それを通じて、人間とスポーツとの文化的な深さを追求したもので、体育・スポーツ関係者の格好の教養書である。

【収録種目】①体操 ②陸上競技 ③競泳  
④柔道 ⑤剣道 ⑥レスリング ⑦バスケットボール ⑧ハンドボール ⑨バレーボール  
⑩サッカー ⑪ラグビー ⑫野球 ⑬テニス  
⑭卓球 ⑮バドミントン

写真と図解による  
荒川清美・石井喜八著  
ようやく国際的水準に到達したハンドボール競技の普及・向上に骨身を惜しまず尽力されている著者が、長い間の研究成果を独自の撮影技術による豊富な写真により解説した待望の技術書。  
A5判一四〇頁 定価五〇〇円

写真と図解による  
ハンドボール

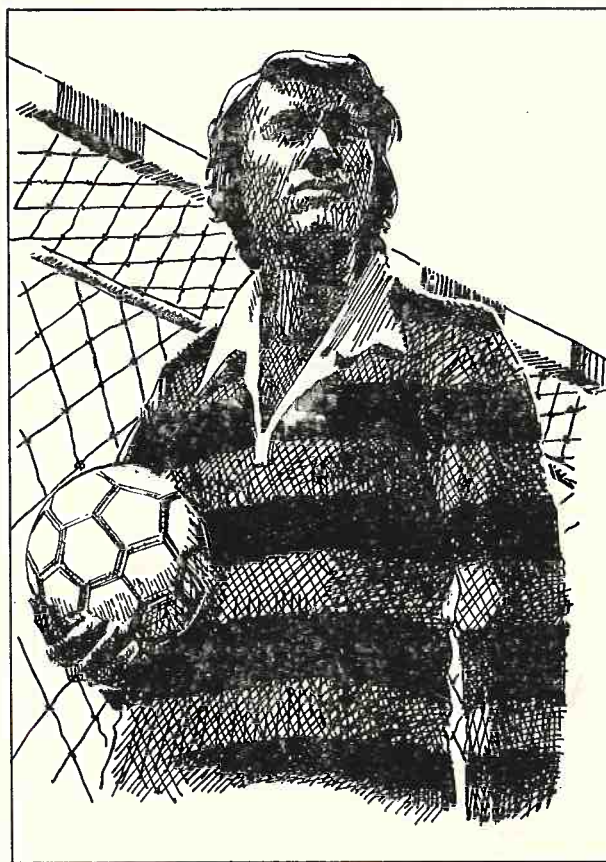
大修館書店 〒101 東京・神田錦町3-24 振替/東京40504 電294・2221(大代表)



# 信頼・技術・情熱

スポーツマンと同じ道をブラザーは歩みます。

ミシン・編機・家庭電化製品・楽器・事務機・工作機……姿・形はちがっても、ブラザー製品の支えはひとつです。信頼される品質を作るすぐれた技術、製品にかけた情熱……スポーツマンと同じ道です。



**BROTHER**  
**ブラザー**

ブラザー工業株式会社  
ブラザーミシン販売株式会社

日本ハンドボール協会編  
『ハンドボール』

第一一三号

昭和四十年六月七日  
第三種郵便物認可

昭和四十八年九月二十五日印刷 発行所  
昭和四十八年十月一日発行 日本ハンドボール協会

東京 渋谷区神南一丁目  
一丁目 大代表(株)三二一  
振替東京五八三四八番

編集兼 保坂周助  
発行人

定価二百円  
年間購読料  
千八百円